

令和2年度版

# 豊田市森づくり白書



豊田市



=表紙の写真=

とよた森林学校講座「森づくりの基礎技術」の開催の様子

令和2年度版

# 豊田市森づくり白書

この報告書は、豊田市の森林の状況や豊田市が行った森づくり施策等について、令和2年度の実績をまとめたもので、豊田市森づくり条例第19条の規定に基づき、豊田市が毎年作成して公表するものです。

## 豊田市森づくり条例

(年次報告書)

第19条 市長は、森林の状況、森づくり基本計画に基づき実施された施策の状況等について、年次報告書を作成し、これを公表するものとする。

# 目 次

<b>第1章 森林及び林業施策</b>	<b>1</b>
I 重点プロジェクト	1
1 各プロジェクトの達成状況	1
(1) 間伐推進プロジェクト	1
(2) 森林保全推進プロジェクト	1
(3) 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト	2
(4) 森づくり人材育成プロジェクト	2
2 各プロジェクトの実施状況	3
(1) 間伐推進プロジェクト	3
(2) 森林保全推進プロジェクト	5
(3) 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト	5
(4) 森づくり人材育成プロジェクト	10
II そのほかの主要な施策	13
1 各施策の実施状況	13
(1) 森林情報の管理に関する施策	13
(2) 木材以外の森林資源の活用に関する施策	13
(3) 森林普及事業に関する施策	13
(4) NPO・森林ボランティア等との共働による森づくりに関する施策	14
(5) 事業評価に関する施策	16
(6) その他の施策	18
III 森づくり構想及び森づくり基本計画等に関する業務	20
1 「とよた森づくり委員会」の開催	20
<b>第2章 施策以外の業務</b>	<b>21</b>
I 管理業務	21
1 森林法に係る各種業務	21
(1) 伐採及び伐採後の造林の届出書の受理	21
(2) 森林の土地の所有者届出書の受理	21
2 森林課所管土地・建物の管理	21
(1) 豊田市森林会館の管理	21
(2) 市有林の管理	21
(3) 林道の維持管理	22
II 広報業務	23
1 講演、視察受入等の森づくり推進活動	23
<b>第3章 決 算</b>	<b>24</b>

<b>参 考</b> -----	<b>25</b>
I 豊田市における森林・林業の現況-----	25
1 豊田市の森林の現状-----	25
2 木材価格の変化と木材生産量-----	27
3 森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状-----	28
(1) 組 織-----	28
(2) 事業活動-----	29
II 産業部森林課の組織と主な業務-----	30
<b>付 表</b> -----	<b>31</b>

利用される方へ

1. H17、H18、…… R1、R2は、それぞれ年度を表します。
2. 時点は令和3年3月31日現在及び各年度末の数値を記載しました。
3. 事業量の数値は、四捨五入していますので、内訳と計は必ずしも一致しないことがあります。
4. 表中符号の用法は次のとおりです。
  - 「0」：四捨五入後単位未満、「-」：該当数字なし、「…」：不明

# 第1章 森林及び林業施策

当年度は、豊田市が平成の広域合併をしてから16年目にあたるとともに、平成30年3月に策定した「新・豊田市100年の森づくり構想」（以下「新・森づくり構想」）、及び同時に改正した「第3次森づくり基本計画」（以下「第3次計画」）に定める事業期間の3年目となります。

第3次計画では4つの重点プロジェクトに加え、そのほかの主要な施策7つを設定しました。これら施策により公益的機能を重視した森づくりを実施していきます。

## I 重点プロジェクト

第3次計画の中で、10年間に12,000haの間伐を実施するという計画目標値を達成するために、次の4つの重点プロジェクトを定め、これらの達成状況及び実施状況を検証しました。

### 1 各プロジェクトの達成状況

#### (1) 間伐推進プロジェクト

間伐面積については、各種の間伐補助事業等を総合的に組み合わせた結果、919haとなりました。前年度の実績821haと比較して98ha増加し、達成率は76%でした（p.3）。

当年度は森づくり会議が新たに1会議設立され、森づくり団地の樹立面積は、1,104ha（達成率92%）、累積では会議数が112、団地樹立面積が13,235ha（達成率84%）となりました（p.4）。

#### 〈間伐推進プロジェクトの達成状況（令和2年度）〉

指標	実績 (A)	目標 (B)		達成率 (A/B)	
		上段：2022年度	下段：2027年度	上段：2022年度	下段：2027年度
間伐面積 (ha/年)	919	1,200		76%	
		1,200		76%	
森づくり団地樹立面積 (ha/年)	1,104	1,200		92%	
		見直し時に再設定		—	
森づくり団地樹立累積面積 (ha)	13,235	15,750		84%	
		見直し時に再設定		—	

#### (2) 森林保全推進プロジェクト

皆伐や林業用路網開設等は、森林環境を大幅に変え、森林土壌に大きなダメージを与える行為です。これらの影響を最小限に抑えるため、市では平成30年度に「豊田市森林保全ガイドライン」（以下「ガイドライン」）を策定し、これに沿った指導を行っています。伐採及び伐採後の造林の届出書が提出された時や届け出前の相談があった際に、申請者と一緒に予定地を歩いて、ガイドラインに定めた傾斜35度以上の急傾斜地、0次谷、地質などの危険地帯の有無や河畔林の確認、皆伐上限面積（5ha）が守られているかどうかをチェックしています。当年度は、計21件・18haについて指導を行いました（p.5）。

### (3) 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト

地域材の利用促進には、木材生産を低コストで行うことや立地に応じた作業システムで森林保全に配慮すること、川上（山元）から川中（製材所等）、川下（消費者）に至る一連の流れの円滑化を図ることが重要です。当年度は木材生産量の拡大や新たな作業システムの導入のために、各施策に取り組みました。その結果、伐採搬出コストは12,183円/m<sup>3</sup>（達成率：0%（2022年度）、0%（2027年度））で、前年度実績10,726円/m<sup>3</sup>と比較して、1,457円の増加となりました。また、間伐に伴う素材生産量は30,954m<sup>3</sup>（達成率：124%（2022年度）、103%（2027年度））で、前年度実績31,804m<sup>3</sup>と比較し、850m<sup>3</sup>の減少でした。さらに、中核製材工場における原木取扱量は36,783m<sup>3</sup>（達成率82%）で、前年度実績31,704m<sup>3</sup>と比較し、5,079m<sup>3</sup>の増加となりました。

#### 〈地域材の生産・流通・利用推進プロジェクトの達成状況（令和2年度）〉

指 標	実 績 (A)	目 標 (B)		達成率 (A/B)	
		上段：2022年度 下段：2027年度	上段：2022年度 下段：2027年度		
伐採搬出コスト（円/m <sup>3</sup> ）	12,183	10,000	0%		
		8,000	0%		
間伐に伴う素材生産量（m <sup>3</sup> ）	30,954	25,000	124%		
		30,000	103%		
中核製材工場における原木取扱量（m <sup>3</sup> ）	36,783	45,000	82%		
		45,000	82%		

注1 伐採・搬出コストは、伐採・集材・造材・搬出（土場）までにかかるトータル経費（消費税込み）のこととした。

2 伐採搬出コストの達成率については、（基準年のコスト - 実績）÷（基準年のコスト - 目標）。基準年のコストは第3次計画樹立時（2016年度）の11,000円/m<sup>3</sup>とした。

3 達成率は0から100%の範囲とし、計算上マイナスとなる場合は0とした。

### (4) 森づくり人材育成プロジェクト

新・森づくり構想の実現の担い手となるプロフェッショナルな林業技術者の育成として、森林施業プランナーの技術育成のための「森づくり人材育成研修」を平成30年度より開始しました。岐阜県立森林文化アカデミーと連携し、豊田森林組合の中堅職員6人が11日間の研修を受講しました（p.10）。また、林業に必要な基本的技術の習得を目的とする「緑の雇用」の新規研修生を2人受け入れ、更に当年度から森林組合の新規採用者を林業大学校等へ就学させる取組を始めました（p.11）。

#### 〈森づくり人材育成プロジェクトの達成状況（令和2年度）〉

（単位：人）

指 標	実 績 (A)	目 標 (B)	達成率 (A/B)
森づくり人材育成研修生	6	4	150%
「緑の雇用」新規研修生	2	3	67%

注1 目標値は2022、2027年度ともに同じ

## 2 各プロジェクトの実施状況

### (1) 間伐推進プロジェクト

#### ① 間伐推進計画

本プロジェクトは、森づくり構想の軸となる事業で、地域森づくり会議方式の団地化をはじめ各種施策を総合的に利用して間伐を推進していくものです。平成30年度からは第3次計画に基づく新しい間伐推進プロジェクトになり、森づくり情報基盤整備（新・森づくり構想P.32参照）に基づき間伐推進計画を見直し、年間1,200haの間伐を安定的に実施する目標に改めました。また、事業別に間伐実施面積の目安を設け実行管理を行います。なお、公有林（市有林・県有林）及び県分収林等の間伐は、計画対象外として扱っています。

当年度の間伐実績は919haであり、前年度821haと比較して98haの増加となりました。また、間伐面積のうち、切置き間伐は727ha、利用間伐は192haでした。間伐の事業地は地域森づくり会議の団地化によって確保しているため、引き続き団地化の促進と団地内で2回目の間伐が必要な人工林を事業地に加え、全体の間伐面積の増加を図っていきます。

#### 〈事業別の間伐実施面積（令和2年度）〉

（単位：ha）

治山	あいち森と緑づくり	矢作川水源基金 水源林対策	水源環境保全林	水道水源特別区域森づくり	間伐促進事業等			計
					市単独	水道水源	国県補助	
39.12	380.67	44.77	32.14	30.39	131.80	83.48	176.86	919.23

注1 年度別の値は付表1参照

2 市間伐補助事業の詳細は付表2参照

#### 豊田市予算に関わる間伐事業の実績

市は、国県や（公財）矢作川水源基金が実施する間伐補助事業に対する補助金の上乗せ、水源環境保全林整備事業により合計421haの間伐を実施しました。このうち、令和元年度から開始した水道水源特別区域森づくり事業※では、牛地町吉原及び上倉において、切置き間伐30ha（17,298千円）を実施しました。また、水源環境保全林整備事業のうち12haは美しい森林づくり基盤整備交付金を活用しました。

※水道水源特別区域森づくり事業とは、矢作ダム左岸の一定区域（急傾斜地が多く地域に居住する森林所有者が少ないエリア）を水道水源地の重要区域と位置付け、所有者と20年間の森林整備協定を締結し、所有者に代わり森づくりを行う事業。

#### 〈豊田市間伐事業 事業別内訳（令和2年度）〉

（単位：ha・千円）

事業名	事業量	事業費	財源内訳				
			国・県補助金	市費	矢作川水源基金	所有者負担金	
矢作川水源基金水源林対策	44.77	18,680	－	4,703	6,808	7,169	
水源環境保全林整備	32.14	12,570	2,000	10,570	－	－	
水道水源特別区域森づくり	30.39	17,298	－	17,298	－	－	
間伐促進	市単独	131.80	56,262	－	56,096	－	166
	水道水源	83.48	30,028	－	29,924	－	105
	国県補助（市上乗せ）	98.41	126,137	50,431	8,659	－	67,047
計	420.99	260,975	52,431	127,250	6,808	74,487	

## ② 提案型集約化施業による間伐事業地の確保

### 地域森づくり会議方式による団地化の推進

森づくり会議 1 会議が設置され、累計では112会議となりました。森づくり団地は、38団地で総面積1,104ha を新たに認定し、累計では592団地、13,235ha となりました。

市と豊田森林組合で組織した「団地間伐促進チーム」や、市が人件費を補助している「森づくり団地化推進員」（緑のコーディネーター）が推進力となり、年間で約1,000ha の団地化ができています。今後は、年間認定面積を保ちつつ効率的に間伐の実施につなげることが重要となっています。特に、当初に団地認定した人工林の2回目の間伐が必要になってきており、新規事業地と並行して間伐を計画的に進めていく必要があります。

#### 〈令和2年度に設立された森づくり会議〉

(単位：人)

地区	名称	構成員数	設立年月日	会議の区域
旭	余平地域森づくり会議	10	R2.12.17	余平町

#### 〈令和2年度に設立された森づくり会議及び団地〉

(単位：会議・団地・ha)

項目	豊田	小原・藤岡	足助	下山	旭	稲武	計
会議数	-	-	-	-	1	-	1
団地数	1	1	11	9	7	9	38
面積	17.33	15.43	292.09	321.95	144.47	313.04	1,104.31

注1 付表 3、付表 4 参照

### あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林整備事業）等の候補地取りまとめ業務

愛知県から候補地取りまとめ業務を委託されており、「あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）」では482ha（97,925千円）、「保安林事業」では22ha（4,430千円）実施しています。なお、これら候補地は、地域森づくり会議方式により取りまとめられたものの一部となります。（付表 5 参照）

### 水道水源特別区域森づくり事業候補地取りまとめ業務

水道水源特別区域森づくり事業による間伐にあたり、牛地町上倉、牡丹餅、押出及び駒山の一部53ha を候補地として取りまとめました。

## ③ 森林経営計画認定状況

森林経営計画<sup>※</sup>は足助地区4件（163.44ha）、旭地区1件（24.61ha）、稲武地区3件（99.78ha）、下山地区5件（157.61ha）、小原地区1件（35.88ha）の計14件（481.32ha）を認定しました（付表 6 参照）。

※ 森林経営計画とは、森林法に基づき「森林所有者」又は「森林の経営委託を受けた者」が、一体的なまとまりのある森林を対象に、5年を1期に立てる森林の施業及び保護についての計画であり、行政が認定するものです。

## ④ ゾーニングと将来の森林像（目標林型）を目指した施業

ゾーニングと目標林型の設定は、「新・森づくり構想」において地域森づくり会議方式による団地化を通して、森林所有者に提案し協議した上で進めていくことになっています。ゾーニングや目標林型の設定に必要な知識・技術は、豊田森林組合職員を対象とした岐阜県立森林文化アカデミーによる研修で学びました。

## (2) 森林保全推進プロジェクト

### ① 森林保全のルールの設定

土砂流出防止や洪水防止など森林のもつ公益的機能を維持するためには、皆伐や新規の林業用路網開設に係る最低限のルール設定をする必要があります。そこで市は、森林所有者や林業事業者など地域との連携・協力を図りながら取り組む、「豊田市森林保全ガイドライン」（以下「ガイドライン」）を平成30年度に策定しました。ガイドラインは、森林生態・地質・砂防の各分野の専門家を招致した「森林保全ガイドライン策定検討会」のアドバイスを受けて策定しました。

### ガイドラインの運用実績

ガイドラインを策定して以降、伐採及び伐採後の造林の届出書が提出された時や届け出前の相談があった際に、傾斜35度以上の急傾斜地、0次谷、地質が脆弱な箇所などの危険地帯や、河畔林、皆伐上限面積（5ha）などの基準に留意して現地確認を行いました。

現場の状況を把握した上で、森林所有者・伐採事業者と協議し、ガイドラインに沿った行為になるよう指導を継続していきます。

〈ガイドライン運用実績〉（単位:件・ha）

地区	件数	面積
豊田	－	－
小原	－	－
足助	9	9.01
下山	10	8.31
旭	1	0.32
稲武	1	0.44
計	21	18.08

### ② 立地条件等に応じたゾーニングの実施

新・森づくり構想では、人工林を「木材生産林」「針広混交誘導林」、天然林を「利用天然林」「保全天然林」の4つに区分するゾーニング設定を行いました。ゾーニングは、地形・傾斜などの自然的な立地条件や経済的な条件に応じて、豊田森林組合の森林施業プランナーが森林所有者に提案して同意を得て進めていくことになっています。今後は森林所有者に同意を得られるよう、施策方針、施業方法、補助体系等を整理していきます。

## (3) 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト

地域材の利用促進には、木材生産を低コストで行うことや立地に応じた作業システムで森林保全に配慮すること、川上（山元）から川中（製材所等）、川下（消費者）に至る一連の流れの円滑化を図ることが重要であり、これら課題について取り組みました。

### ① 豊田型作業システムの確立

当年度は、前年度に引き続き市と豊田森林組合で「新・作業システム部会」を開催し、急傾斜地でも林地を保全しつつ、利用間伐が可能なタワーヤーダの導入にむけた具体的な検討を進めました。なお、タワーヤーダのデモンストレーションを下山地区で検討しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。

## ② 高性能林業機械の導入及び更新の促進

### 豊田森林組合の高性能林業機械保有数

豊田森林組合は、スイングヤーダ、プロセッサ、フォワーダ及びグラブプルを計20台保有しています。

#### 〈豊田森林組合の高性能林業機械保有数（令和2年度）〉

(単位：台)

スイングヤーダ	プロセッサ	フォワーダ	タワーヤーダ	ハーベスタ	グラブプル	計
5(-)	6(-)	6(1)	-(-)	-(-)	3(-)	20(1)

注1 付表7参照

資料：豊田森林組合

2 (-)内は県林業振興基金からのレンタルで内数。

### 高性能林業機械施業促進補助金

市は、(財)愛知県林業振興基金及び民間から高性能林業機械をレンタルで使用している豊田森林組合に対して、利用料の1/2を助成しています。当年度には計2台リースし、補助金額は1,456千円となりました(付表8参照)。

### 高性能林業機械導入補助金

市は、素材生産能力の拡大を図るため、高性能林業機械を導入する豊田森林組合に対して、機械購入経費の3/10を助成していますが、当年度の実績はありませんでした。

### 高性能林業機械更新補助金

市は、素材生産能力の拡大を図るため、高性能林業機械を使用している豊田森林組合に対して、機械更新料の2/10を助成していますが、当年度の実績はありませんでした。

## ③ 「林業用路網」の整備

### 林業用路網の開設実績

第3次計画に基づき利用間伐を推進するために、簡易な林業用路網である林業専用道、作業道及び搬出路の整備に重点的に努めた結果、総開設延長が40.3kmとなりました。

#### 〈林業用路網の開設延長（令和2年度）〉

(単位：km)

林道	林業専用道	作業道				搬出路			合計
		単市作業道	水源基金	あいち森と緑づくり事業	計	私有林	市有林	計	
0.09	0.18	0.52	3.12	-	3.64	34.91	1.50	36.41	40.32

注1 付表9、付表10参照



〈林道開設（大日影支線・足助地区）〉



〈林業専用道開設（和合黒坂支線・下山地区）〉

### 林道等整備事業

効率的な木材運搬及び地域の林業振興のため、林道を89m 開設しました。このうち、愛知県の補助事業制度を活用し、市が野入立野線（稲武地区）及び大日影支線（足助地区）を施工しました（付表 11 参照）。また、愛知県が河上瀬柏洞線（稲武地区）及び田平沢平瀬線（下山地区）を代行施工しました（付表 12 参照）。

また、小原地区の大野線（310m）について、小原和紙工芸発祥の地である鳥屋平工房跡地へのアクセス道としての公衆用道路に移管しました。

### 林業専用道開設事業

林内路網の整備のため、県の補助事業制度を活用し、丈夫で簡易な林業専用道の整備に取り組み、和合黒坂支線（下山地区）を施工しました。（付表 13 参照）。

### 作業道整備事業

平成20年度から始まった市の間伐材搬出路網（作業道）開設事業により、豊田森林組合が作業道1路線を開設しました（付表 14 参照）。

また、（公財）矢作川水源基金の補助事業により、豊田森林組合が作業道3路線を開設しました（付表 15 参照）。

### 搬出路整備事業

平成20年度から始まった市の補助事業により、私有林で豊田森林組合が開設した搬出路開設の実績として、豊田森林組合施工が34,471m（付表 16 参照）、自力施工が436m（付表 17 参照）、全体で34,907mの搬出路を整備しました。

また、市の補助事業とは別に、大多賀市有林の間伐のため搬出路1,500m を開設しました（p.21）

### ④ 林業用路網の維持管理

効率的な木材運搬及び安全な林道利用のため、国及び愛知県の補助事業制度を活用し、林道の改良及び舗装整備に取り組み（付表 18 参照）、改良事業は6路線、657m（付表 19 参照）、舗装事業は6路線、4,240m となりました（付表 20 参照）。

### ⑤ 利用拡大の推進

地域材が市内で常態的に利活用され、木の良さと木材利用への関心が高まるように、地域材製品の開発、木育活動等を通して、（一社）ウッディーラー豊田を始めとした地域の木材関係者と共働により市民が木に触れあう機会の創出を図っており、次のとおり各種事業を実施しました。

#### 〈（一社）ウッディーラー豊田と連携して参加・出展したイベント（令和2年度）〉

イベント名	開催日	会場	活動内容
とよたつながる博2020	10月17日（土）	豊田市森林会館	天然木のオリジナル御朱印帳をつくろう！の開催
とよた森づくり月間	10月12日（月） ～28日（水）	豊田市役所南庁舎 ロビー	20種以上の樹木や樹齢100年を超える大木の展示・地域材を活用したフォトブースの設置
WOODコレクション 2020in あいち	11月21日（土） ～22日（日）	あいち国際展示場 (AichiSkyExpo)	地域材を使用した製品の展示・販売
山の恵みマッチング2020	2月3日（水） ～5日（金）	東京ビックサイト	地域材を使用した製品の展示・販売
とよたビジネスフェア	3月11日（木） ～12日（金）	スカイホール豊田	地域材を使用した製品の展示・販売



〈イベント出展の様子〉

#### 〈（一社）ウッディーラー豊田と連携した普及啓発活動（令和2年度）〉

- ・ 市内住宅への地域材利用促進のため、市内の工務店（6社）との意見交換を実施。
- ・ 有限会社梅村工務店が開発した憩いの小屋「IKOYA」に、外壁材として豊田市産スギ材をコーディネート。
- ・ 浦野合資会社（浦野酒造）と共同で父の日ギフトを販売。（豊田市産ヒノキを使用した木枘と地酒「菊石山田錦純米酒」のセット）
- ・ 地域材を使用した新型コロナウイルス対策用飛沫パネルの開発・販売。（市内全交流館を始めとした公共施設や民間企業の窓口などに採用）

- ・ 地域材を使用した各種商品を開発。（御朱印帳、ハニカムシェルフ、家具など全8品目）
- ・ 豊田市エリアマネジメント研究会と連携し、地域材を使用したエコタンブラーを製作。10月に開催された「Toyota Street Market」で販売。
- ・ ツーリズムとよたと連携し、豊田市産ヒノキを使用した限定御朱印帳を製作。11月に開催された「徳川家のルーツ松平氏でつながる松平・下山秋の御朱印七社めぐり」で使用。
- ・ 株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋名古屋店と共同で豊田市産スギを使用したおせちの重箱を製作。豊田市の特産物を詰め込んだおせちに使用され、売り上げの一部を豊田森林組合へ寄付するなど、森林を守る取組として、おせちで持続可能な社会の実現を表現。
- ・ とよた元気プロジェクト実行委員会が発行した「WE LOVE とよた応援商品券」の付随事業として実施された「WE LOVE とよた大抽選会」の抽選景品として、地域材を使用した製品を200セット提供。

なお、（一社）ウッディーラー豊田では、指定管理を担う豊田市森林会館を拠点とし、会員企業と連携し、引き続き豊田市産材を活用した商品開発、木材に関わる勉強会やツアーを実施しながら地域材の新たな流通確保及び需要拡大を促進します。

#### 〈（一社）ウッディーラー豊田の構成員〉

役員	理事長	樋口 真明
	理事	鈴木 禎一（あさひ製材協同組合（現：八幡製材））、伊藤 浩二（豊田森林組合）、伊藤 秀和（西垣林業（株））、小野 健（（株）小野デザイン事務所）、古澤 彰朗（豊田市産業部森林課）
	監事	山崎 真理子（名古屋大学）
会員	102者	（法人会員・個人会員）

#### 豊田市テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金

市内のテナント店舗等で地域材を活用して木質化をするものに対して経費の一部を補助し、行政が積極的に情報発信することにより、地域材の活用促進と市民への見える化を図りました。当年度は、2店舗に補助を行うと共に、情報発信として、商工会議所や報道発表等での発信により、幅広い人へPRしました。

#### ⑥ 市民理解の促進

##### 木育イベント等

地域材の普及啓発として、木に触れ、木の良さを知り、日常生活の中に木材を取り入れてもらうきっかけづくりとして、木育イベントなどを開催していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

##### 地域材を活用した木のおもちゃ寄贈

豊かな森林資源の活用と、木材を身近に感じてもらうことを目的に、市内のこども園や子育て支援センターへおもちゃプレゼントを実施していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

## ⑦ 公共建築物等における地域材の利用

公共施設の建築や道路工事等の際に地域材を積極的に活用し、地域材のPRと利用の促進を図っています。建設用資材や土木工事用の看板・杭・柵等の材料として225m<sup>3</sup>の地域材を利用しました（付表 21 参照）。

## （４） 森づくり人材育成プロジェクト

林業労働者の高齢化・人手不足・人材不足が課題となっているなか、市が目指す森づくり構想の実現に向けて、その担い手となるプロフェッショナルな林業技術者を育成します。

### ① 森づくり人材育成研修（森林施業プランナーの育成）

平成30年度から、岐阜県立森林文化アカデミーと連携して、林業に携わる人材の育成を目的とした「森づくり人材育成研修」を実施しています。当年度は2期目の初年度（2年間の通し研修）として、豊田森林組合の中堅職員6人を対象とした研修を行いました。

#### 〈森づくり人材育成研修の実施内容（令和2年度）〉

実施日	研修名	研修内容	場所	講師
7月16日～ 7月17日	森林の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の構造と動態（プレ研修1）</li> <li>・林木の成長と森林の発達（プレ研修1）</li> <li>・主要高木の樹種判定</li> <li>・主要な指標植物の種判定</li> </ul>	森林文化 アカデミー	横井 秀一 教授
8月4日～ 8月5日	林業事業体の 経営・会計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計の基礎</li> <li>・林業事業体の会計（各部門と全体の つながり）</li> <li>・損益分岐点</li> <li>・コスト計算</li> </ul>	森林文化 アカデミー	杉本 和也 講師 新永 智士 (鹿児島大学 客員准教授)
8月26日～ 8月27日	森林の基礎 目標林型と将来木施 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の樹種判定の続き</li> <li>・樹種判定テスト</li> <li>・前回の振り返り</li> <li>・目標林型の考え方（プレ研修2）</li> <li>・豊田市の森づくり方針と施業方法（4つ の目標林型、有用広葉樹の生産、スギ・ ヒノキ大径木生産含む）</li> </ul>	森林文化 アカデミー	横井 秀一 教授
10月27日～ 10月29日	壊れにくい森林作業道と 森林ゾーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>【森林作業道】</li> <li>・崩壊危険地の知識</li> <li>・作設技術の知識</li> <li>・過去の失敗現場視察</li> <li>【ゾーニング】</li> <li>・防災面から見た林業適地と不適地の判 定</li> <li>・森林保全のルール、下層植生の扱いな ど</li> </ul>	豊田森林組合 他	臼田 寿生 専門研究員 (岐阜県森林研究所)
11月9日～ 11月10日	目標林型と将来木施業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の振り返り</li> <li>・豊田市モデル林の視察・検討（目標林 型の決定と選木）</li> <li>・豊田市の現場での樹種判定</li> </ul>	豊田森林組合 他	横井 秀一 教授



〈講義（座学）の様子〉



〈講義（現地実習）の様子〉

## ② 国内外の林業教育・研究機関との連携による人材育成

市職員が森林・林業に関する専門的な知識及び技術を身に着けるため、平成31年4月から2年間、森林課の職員1人を岐阜県立森林文化アカデミーに実務研修生として派遣しました。

## ③ 森づくり人材の確保等

### 「緑の雇用」事業等の活用

「緑の雇用」事業は愛知県森林組合連合会からの委託を受けて、豊田森林組合が事業を実施しています。なお、豊田森林組合は、合併前の平成15年度より積極的に本事業を活用しており、現在までに112人の研修生を受け入れ、37人が現在も作業班や組合職員として活躍しています（付表 22 参照）。

また、平成29年度からは「緑の雇用」を補完する「現場技能者育成推進対策事業補助金」を設け、安定的な研修生の確保や定着率の向上させる支援に取り組んでいます。

### 新規就業者育成支援

「現場技能者育成推進対策事業補助金」においては、当年度から新たに「新卒現業職員育成支援事業」を設けました。豊田森林組合の新規採用者が、市が定める林業大学校等への就学に要する経費の一部を補助しており、豊田市における林業従事者の育成を支援しています。

### 森づくり団地化推進員

森づくりの団地化を推進する人材を育成するとともに、地域の雇用創出を目的として、平成21年度から豊田森林組合が臨時的に雇用する「森づくり団地化推進員」（緑のコーディネーター）に対して人件費の一部を補助しており、当年度は8人、17,321千円を補助しました（付表 23 参照）。

### 市における専門職員の配置

森林・林業に関する専門教育を受けた職員は、2人在籍しています。

### 森林組合職員の出向受入れ

豊田森林組合が市の業務内容を理解し、市と組合との業務を円滑に進めていくことを目的として、森林組合職員1人が1年間の任期付き職員として市に出向し、その業務の一部を担いました。

④ その他（林業事業体の安定経営や人材の待遇改善）

第3次森林組合中期経営計画の進捗管理、第4次森林組合中期経営計画策定に向けた検討を支援しました。中期経営計画推進委員会は、4～3月で計12回開催されました。

## II そのほかの主要な施策

### 1 各施策の実施状況

#### (1) 森林情報の管理に関する施策

##### 豊田市森林GIS保守・運用業務

森林課独自の GIS について、基本データである森林計画図、森林簿、市地番図及びオルソ画像等を最新のデータに更新しました。また、当年度に新規又は変更のあった地域森づくり会議や森づくり団地、水道水源特別区域森づくり事業地及び林地台帳を整備しました（付表 24 参照）。

#### (2) 木材以外の森林資源の活用に関する施策

##### 特用林産物の生産の振興

山間地域の活性化と特用林産物の振興を図るため、小原地区のウルシ造林地 3 箇所（0.69ha）に対し、下刈りによる保育を実施しました。

#### (3) 森林普及事業に関する施策

##### ① とよた森林学校の実績

講座内容は市が企画し、運営は豊田森林組合に委託しています。当年度は7講座延べ22日を実施するとともに、事務局が自主的に企画・運営するフォローアップ研修を3回開催しました。さらに、外部からの依頼に基づき、森林課職員等が講師を務めて実施する出前講座を14回開催しました。

##### 〈事務局・スタッフの体制〉

校長	蔵治 光一郎（東京大学大学院教授） ※外部から選任
副校長	鈴木 誠美（豊田森林組合代表理事組合長）
事務局長	青山 正博（豊田森林組合専務理事）
事務局	成瀬 秀仁、高齊 麻衣、山口 鉄郎（豊田森林組合職員：3人） 山本 薫久、西川 早人、恵比根 美明、長谷川 貢、高部 ほなみ （おいでんさんそん森林部会）

##### 人材育成コース（森林活動に関わる人材の育成）

間伐を実施する人材や、森林自然観察会で指導する人材の育成を目的として、次の3講座を開催しました。また、間伐ボランティア初級講座の修了生で構成されるボランティア団体が毎年1団体ずつ組織され、現在12団体が活動しています。

##### 〈人材育成コース概要〉

（単位：日・人）

講座名	開催講座日数	受講者数
楽しい山づくり入門講座	5	8
森林観察リーダー入門講座	6	13
間伐ボランティア初級講座	3	20
計	14	41

注1 付表 25 参照

### 森の応援団コース（森の応援団の育成）

一人でも多くの市民の方々に、森林の現状や課題、森林の楽しみ方などについて関心を持っていただくことを目的として、7講座を企画しましたが、森林セミナー、森林の樹木調べ（初級コース）、夏休み昆虫観察会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

### 〈森の応援団コースの概要〉 (単位：日・人)

講座名	開催講座日数	受講者数
森林と災害	2	9
矢作川源流の森ウォーキング	2	15
自然の仕組み探検隊	2	18
森づくりの基礎技術	2	18
計	8	60

注1 付表 26 参照

### 出前講座の開催

当年度は、市内の小中学校を中心に、森林の働きや間伐の効果などについての講座を、森林課職員と樹木医が講師を務め、都市部の児童向けに内容を充実させ、5団体、延べ14回開催しました。

### 〈出前講座の開催概要（令和2年度）〉

(単位：団体・回・人)

申込み団体数	年間延べ開催数	延べ参加者数	派遣職員延べ人数	内容等
5	14	310	14	森林の働き、間伐の効果などの基礎講座

注1 付表 27 参照

### ② 森林普及事業の拡大に向けた施策

豊田市の森林普及事業の柱である「とよた森林学校」は当年度で15周年を迎えるなか、近年の社会情勢の変化により市民ニーズは多様化してきており、今後の森林普及事業について検討する時機にきていることから、以下の施策を実施しました。

### 森林普及検討会議等の開催

豊田市の森林普及事業を広い視野で検討するため、森林関係有識者、教育関係者等による検討会を計2回実施しました。森林課が事務局を務めて、長野県林業総合センター、市内小中学校に所属する職員や地域暮らし実践者ら計6人からなる検討会議です。

検討会議では、当年度から制作中の森林普及動画の編成や、森林に興味のない市民向けのアプローチ手法などが議題として挙げられ、今後の普及活動を進めるうえで必要な要素について議論しました。

森林普及検討会議	開催日	場所	活動内容
第1回	9月25日（金）	豊田市役所本庁	意見交換会
第2回	1月22日（金）	オンライン	意見交換会

### (4) NPO・森林ボランティア等との共働による森づくりに関する施策

豊田市を中心とした矢作川流域は、人工林での活動を主とした森林ボランティアの活動が盛んな地域です。豊田市は、こうした森林ボランティアやNPO、さらに流域に生産拠点を有する企業などと連携を深めて、相互理解のもとに、共働による森づくりを推進しています。

## ① 森林ボランティア活動の支援

市内の人工林を活動場所としている森林ボランティアのうち、補助金申請を行っている団体は12団体あります。今後さらに、とよた森林学校の修了生などから構成された団体が新たに結成されることも期待されます。市としては、森林ボランティアが自立の精神を持って活動できるように以下の支援をしました。

### **森林ボランティア始動支援事業**

活動を始めるに当たっては、いろいろな活動用具などの整備が必要となります。平成17年度より、そうした団体に対して初動の2年間に限り補助しています。当年度は2団体（構成員数24人）に125千円を交付しました（付表 28 参照）。

### **森林ボランティア安全対策事業**

活動に伴う傷害保険の加入を促進するため、平成18年度よりボランティア保険料を補助しています。当年度は12団体（構成員数169人）に492千円を交付しました（付表 29 参照）。

### **実習地としての市有林の提供**

市有林の中から、市民等で構成される団体が計画的に間伐や自然観察などの森林活動を実施する場を提供することを目的として、平成20年度に大洞市有林（64ha）を「森林活動の森・大洞」、平成22年度に木瀬市有林（1.8ha）を「森林活動の森・木瀬」に指定しています。

## ② 企業・団体の森づくり活動に対する支援

### **企業等と共働した森づくり**

近年、市内外の企業が市内に森づくり活動の場を求める事例がいくつか見られます。例えば、系列会社が所有する山林で各種の森林活動をイベントとして開催する事例、市有林を利用して間伐活動を行う事例などがあります。今後もこのような要望は増加すると考えられることから、「森林活動の森・大洞」及び「森林活動の森・木瀬」を始めとした市有林の活用と森林学校の出前講座を中心として対応していきます。

## ③ とよた森づくりの日ととよた森づくり月間における普及啓発活動

市は、豊田市森づくり条例第16条第2項において10月26日を「とよた森づくりの日」、10月を「とよた森づくり月間」と決めました。森づくりに関する普及啓発は、とよた森林学校や日常の活動等でも行っていますが、当年度はこの期間に次の取組を行いました。

今後も将来を見据え、「豊かな環境・資源・文化をはぐくむ森林」の実現を目指します。

### **パネル等の展示**

東海豪雨から20年が経過した当年度は、（一社）ウッディーラー豊田等、市内の森林関係者の協力のもと、例年より充実した展示を市役所南庁舎ロビーに設置しました。

- ・スギ、ヒノキ、サクラなど20種以上の樹木や樹齢100年を超える大木を集めた切り株や板材の展示
- ・地域材を使用して作成したハロウィン仕様のフォトブースの設置

## 横断幕等による啓発

- ・庁舎での横断幕、のぼり旗の設置
- ・公用車にステッカーの貼付

〈パネル等の展示にご協力いただいた森林関係者〉

- ・（一社）ウッディーラー豊田
- ・西垣林業株式会社（豊田工場）
- ・豊田森林組合
- ・足助町木材協同組合
- ・豊田市林業振興会議



〈展示の様子〉



〈フォトブースの様子〉

## （5） 事業評価に関する施策

第3次計画の中で、間伐実施、間伐手法、及び林業用路網整備に関してモニタリングを実施することを定めています。

### ① モニタリング

#### 間伐モニタリング調査

公益的機能が高い人工林づくりを目指して、過密人工林に対して間伐推進を施策の柱にしています。しかし、間伐前後の下層植生の経時的な再生や樹木の成長のプロセス、また間伐率の違いや施業法の違いによる結果についてはデータが乏しく、経験的推論となるため、第3次計画の中で間伐効果についてのモニタリング調査の実施を定めています。そのため、平成20年度より3年間で75箇所の調査地を設定し、間伐後3年毎に植生調査と林分調査を実施し、その変化を調べています。

13年目にあたる当年度は、平成20年度に設定した調査地25箇所について、植生調査及び林分調査を実施しました。これらの調査地は、平成21、22年度に間伐を実施した箇所とその対照区で、間伐後の調査としては4回目になります。

当年度の結果を見ると、前回調査（平成29年度）と比べ、低木層（高さ1m～5m）が発達傾向にあり、草本層の植被率が下がっていました。間伐直後は、林冠が空いて光が入るようになるため草本層の植被率や種数は増加しますが、間伐3年後あたりから林内が暗くなってきたことと考えられます。その理由として間伐効果で亜高木や低木が成長したため地際がさらに暗くなったことが推察されます。亜高木や低木の成長が確認できたことは、間伐により高木—亜高木—低木—草本という森林の階層構造が形成されつつあると言えます。今後は、2回目の間伐を実施する調査地を設定し、対照区、1回目間伐区、及び2回目間伐区との間で間伐効果を比較し、検証していきます。

〈モニタリング調査計画〉

設定年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
H20	○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目			○ 4回目
H21		○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目		
H22			○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目	

〈間伐モニタリング調査地の設置状況〉

(単位：箇所)

年度	間伐								皆伐		対照区(放置)			計
	切置き					巻枯らし		列状	小面積	その他	人工林	天然林	その他	
	20%	30% ~ 33%	40%	50%	60% ~ 70%	40%	55% ~ 66%							
H20	2	2	7	2	2	5	1	2	-	-	2	-	-	25
H21	2	3	3	3	-	1	2	3	-	2	4	1	1	25
H22	1	3	6	-	1	1	-	-	1	4	6	2	-	25
計	5	8	16	5	3	7	3	5	1	6	12	3	1	75

水源かん養機能モニタリング

洪水や濁水などの水をめぐり問題は市にとって最重要課題の一つであり、この解決のために森林の果たす役割が注目されています。一方で、間伐や皆伐などの施業が森林の水の動きにどの程度の影響を与えるかについては十分に解明されていません。そこで市は、森林で行われる間伐等の森林施業の実施効果を検証するため、市内に試験地を設置し、東京大学大学院農学生命科学研究科と協力して、間伐前後の水量や水質の変化を把握する調査を平成27年度から開始しました。

当年度は昨年と同様に、気象、流量、樹冠遮断量、表面流量、土砂流出量、及び渓流水の水質等について観測を行いました。なお、令和3年1月に、大洞市有林の間伐流域(A-1)の樹幹遮断プロットにおいて間伐を実施しました。

〈調査内容〉

調査地	試験流域	観測項目
大洞市有林(小原地区)	間伐流域(A-1) 対照流域(A-2)	①気象、②流量、③樹冠遮断量、④表面流量、 ⑤土砂流出量、⑥水質
御内市有林(足助地区)	利用間伐流域(M-1) 切置き間伐流域(M-2) 皆伐流域(M-3) 対照流域(M-4)	①気象、②流量、③土砂流出量、⑥水質

## 〈観測結果〉

観測項目	結果
① 気象	・年降水量は大洞2,304mm と御内2,619mm で、市街地の豊田アメダス1,691.5mm と比較して、前年同様、大幅に多い結果となった。 ・月の平均湿度は、大洞・御内ともに70～95%の範囲で高い値となった。
② 流量	・年間の流出量から年降雨量を除した流出率は49～93%とバラつきがあった。
③ 樹冠遮断量	・大洞では、降水量と樹幹流量、林内降雨量を計測し算出している。 ・林外雨量に対する林内雨量、樹幹流下量、樹冠遮断量の配分について、樹冠遮断量 8.7%、樹幹流下量19.4%、林内雨量71.9%の雨水が配分されていた。
④ 表面流量	・H30に実施した2つの間伐実施地と対照区（間伐未実施）を比較すると、前年同様、切置き間伐により表面流量は大幅に減少する結果になった。
⑤ 土砂流出量	・間伐前に比べて増加したが、間伐作業によるかく乱の影響が考えられる。 ・大きな降雨イベントの際に、まとまった量の土砂が流出している。
⑥ 水質	・降水におけるイオン濃度は、大洞と御内とで明瞭な違いは見られなかった。 ・渓流水におけるイオン濃度は、前年同様、大洞のナトリウム、カルシウム、硫酸イオンが御内よりも高く、御内のマグネシウムイオンが大洞に比べて高い傾向にある。



〈樹幹流量の観測〉



〈量水堰内の砂出し作業の様子〉

## （6） その他の施策

### ① 市有林の活用

森林課の所管する市有林は市内に分散しており、その合計面積は約1,248haです。市有林では、間伐による下層植生の回復状況などのモニタリング調査や、新たな作業システムの効果試験等のトライアル事業、森林ボランティア団体の活動の場など、私有林では実施が難しい事業について活用しました（p.15）。

### ② 市町村の広域連携に関する施策

市町村が抱える森林行政に関する課題等についての意見交換を行い、課題解決に向けた方向性を議論するとともに、広域森林市町村同士で共通認識とネットワークを広げることを目的に、平成26年度より、「近畿・東海・北陸市町村森林フォーラム」を開催しています。当年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました（付表 30 参照）。

### ③ 森林環境譲与税を活用した取組

令和元年度から譲与された森林環境譲与税を活用し、以下の取組を行うことで森林整備の推進等を図りました。

#### 〈森林環境譲与税を活用した取組（令和2年度）〉

（単位：円）

事業名	内容	実績	事業費	うち森林環境譲与税充当額
森づくり担い手育成支援費補助金	コーディネーターの雇用等に対する補助	コーディネータ	17,320,100	17,320,100
新規就業者育成推進事業費補助金	新規就業者に対する育成推進事業に対する補助	林業大学校等：3人	8,710,567	8,510,567
水源環境保全林整備費	水源環境保全林の間伐（伐採率40%）等を実施する豊田森林組合に対する補助	間伐 20.53ha	14,026,449	8,542,718
間伐促進費補助金（切置き分）	私有林の切置き間伐（伐採率40%）等を実施する豊田森林組合に対する市単補助	切置き間伐 131.80ha	64,754,648	56,095,525
森づくり推進組織育成費交付金	豊田市独自の森づくり団地化のための交付金	森づくり団地面積 1,104.31ha	22,086,200	22,086,200
モニタリング調査費	間伐モニタリングを実施	25か所	3,542,000	3,542,000
森林環境教育・啓発費	森林に関する啓発事業として「とよた森林学校」を実施	7講座 22回開催 101人参加	14,475,537	3,188,890
テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金	地域材を活用したテナント店舗等の木質化に対する補助	2件	2,306,000	2,306,000
管理備品整備費（小学校）	小学校における地域材の机・椅子の導入	机：1,212台 椅子：1,543脚	19,059,920	4,800,000
管理備品整備費（中学校）	中学校における地域材の机・椅子の導入	机：797台 椅子：532脚	9,530,620	2,000,000
新設備品整備費（中学校）	増設する中学校における地域材の机・椅子の導入	机：331台 椅子：361脚	4,759,260	1,200,000
計			180,571,301	129,592,000

### III 森づくり構想及び森づくり基本計画等に関する業務

#### 1 「とよた森づくり委員会」の開催

とよた森づくり委員会（以下「森づくり委員会」）は、森づくり構想や森づくり基本計画等について協議するため、平成17年度に発足し、平成19年度には豊田市森づくり条例に位置づけられました。発足から当年度で15年目になります。

森づくり委員会では、森づくり会議・団地化等に関することを主な検討課題としました。  
 なお、森づくり委員会の資料・会議録は、市のウェブページに掲載しています。

#### 〈森づくり委員会委員（12人）/オブザーバー（2人）【任期：令和元年7月17日～令和3年7月16日】〉

役職	氏名	所属等
会長	片桐 正博	森づくり会議森林所有者・元愛知県副知事
副会長	鈴木 誠美	豊田森林組合 代表理事組合長
委員	蔵治 光一郎	東京大学大学院農学生命科学研究科附属 演習林企画部 企画部長・教授
	横井 秀一	岐阜県立森林文化アカデミー 教授
	岡本 透	（国研）森林総合研究所関西支所 グループ長
	鈴木 禎一	八幡製材
	鈴木 政雄	森づくり会議森林所有者・専業林家
	國友 淳子	トヨタ自動車（株）社会貢献推進部
	水嶋 淳	水嶋建設（株） 代表取締役社長
	鈴木 辰吉	（一社）おいでん・さんそん 代表理事
	永井 初美	公募委員
	藤富 勝行	公募委員
オブザーバー	川端 孝信	愛知県豊田加茂農林水産事務所 林務課長
	青山 正博	豊田森林組合 専務理事

#### 〈森づくり委員会の開催状況（令和2年度）〉

開催日	場所	協議事項
10月16日	市役所環境センター5階 環51会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業実績について</li> <li>・令和2年度予算概要について</li> <li>・森づくり会議・団地化について</li> </ul>

## 第2章 施策以外の業務

### I 管理業務

#### 1 森林法に係る各種業務

##### (1) 伐採及び伐採後の造林の届出書の受理

森林法第10条の8第1項の規定に基づき、森林の伐採を行う者からの事前の届出を受理しました。

〈伐採及び伐採後の造林の届出の件数と面積〉

(単位：件・ha)

項目	件数	面積
主伐	234	56.77
うち転用	36	4.93
間伐	101	587.68
計	335	644.45

注1 付表 31 参照

##### (2) 森林の土地の所有者届出書の受理

森林法第10条の7の2第1項に基づき、売買や相続などによる新たな所有者からの届出を受理しました。

〈森林の土地の所有者届出の件数と面積〉

(単位：件・ha)

項目	件数	面積
売買	30	152.09
その他	122	242.84
計	152	394.93

注1 付表 32 参照

#### 2 森林課所管土地・建物の管理

##### (1) 豊田市森林会館の管理

森林課が所管する豊田市森林会館の研修室等の利用実績は、23件、417人でした(付表 33 参照)。新型コロナウイルス感染症の影響で一時(4月11日～5月17日)利用を中止し、利用者の感染対策に努めました。

##### (2) 市有林の管理

森林課が所管する市有林1,248haについて、平成17年度と平成18年度の2年間で、豊田森林組合に委託して「市有林長期森づくり計画」を策定しました。さらに平成17年度から平成21年度にかけて市有林の「森のカルテ」を順次作成し、その森林現状を把握するとともに、間伐等森林施業を進めてきました。また、平成18年度より「市有林界確定測量」も順次実施しています。

#### 市有林間伐実績

大多賀市有林の間伐5.83haを行い、506m<sup>3</sup>の材を搬出し、搬出路1,500mを開設しました。

〈市有林別の間伐施業実績(令和2年度)〉

(単位：ha・m<sup>3</sup>・千円)

市有林	間伐区分	施業面積	事業費		素材生産		備考
				国・県補助金	搬出量	販売額	
大多賀	利用	5.83	6,741	—	506.491	5,575	
	切置き	—	—	—	—	—	
計		5.83	6,741		506.491	5,575	

注1 付表 34、付表 35 参照

## 市有林界確定測量業務

新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

### (3) 林道の維持管理

市が管理する林道における崩土撤去などの修繕を次のとおり実施しました。当年度は7月豪雨等により多くの林道が被災したため、例年に比べ修繕箇所が増加しました。

#### ① 修繕の状況

〈市管理林道の修繕（令和2年度）〉

(単位：路線・箇所・千円)

修繕路線数	延べ修箇所	事業費	主な修繕内容
75	113	125,303	崩土撤去22件 倒木撤去 8件 法面・路肩等修繕83件

注1 付表 37 参照

#### ② 林道パトロール

平成19年度から、市内の林道の状況を把握することを目的として、通行の安全確保と簡易な修繕を行うために林道パトロールを開始しました。当年度は6人の森林管理補助員（林道パトロール員）が在籍し、林道パトロール班2人と維持修繕作業班4人の2班体制を基本として市内約438kmの林道を巡回しました。

## II 広報業務

### 1 講演、視察受入等の森づくり推進活動

森づくりに関する条例・構想・基本計画を策定したことや、多くの独自施策も実施していることから、各方面より講演依頼や視察受入れなどの依頼がありました。

#### 〈講演等の概要（令和2年度）〉

(単位：人)

開催日	主催・イベント等名称	テーマ	参加者
8月26日 (水)	みえ森林・林業アカデミー 市町職員講座（三重県津市）	豊田市の集約化（森づくり会議・団地）について	20
10月6日 (火)	岐阜県飛騨市 森林境界明確化検討会議	豊田市の森づくりと森林境界の明確化	10

#### 〈視察の受入れの概要（令和2年度）〉

実施日	視察団体	内容
8月27日 (木)	福井県池田町 (リモート)	新・豊田市 100年の森づくり構想及び池田町木望の森 100年プロジェクトに関する意見交換

#### 〈印刷物等の概要（令和2年度）〉

印刷物等の名称	タイトル等	発行者
新聞記事	林業の魅力 実物で学ぶ	中日新聞社

#### 〈テレビ番組等の放映の概要（令和2年度）〉

放映日	番組タイトル	放映概要
7月30日 (木)	豊田市政番組「とよた NOW」	豊田市産木材 PR 冊子作成
10月16日 (金)	豊田市政番組「とよた NOW」	森づくり月間紹介展示

#### 〈関連行事等の概要（令和2年度）〉

(単位：回)

行事等の名称	延べ回数	内 容
令和2年度西三河地域「あいちの森づくり」県・市町連絡調整会議	1	森林環境譲与税の取組状況及び森林環境譲与税を活用した木材利用について等における意見交換ほか

## 第3章 決算

### 歳入

(単位：千円)

項目	R2	R1	差
(1) 森林環境譲与税	129,592	60,983	68,609
(2) 林業費負担金	642	1,855	△ 1,213
(3) 林業使用料	293	337	△ 44
(4) 林業費補助金	207,860	189,587	18,273
(5) 林業費委託金	102,355	74,567	27,788
(6) 土地建物貸付収入	13,857	13,149	708
(7) 利子及び配当金	1,712	1,675	37
(8) 生産物売払収入	5,575	9,508	△ 3,933
(9) 基金繰入金	30,000	30,000	0
(10) 雑入	28,082	28,799	△ 717
計	519,968	410,460	109,508

### 歳出

(単位：千円)

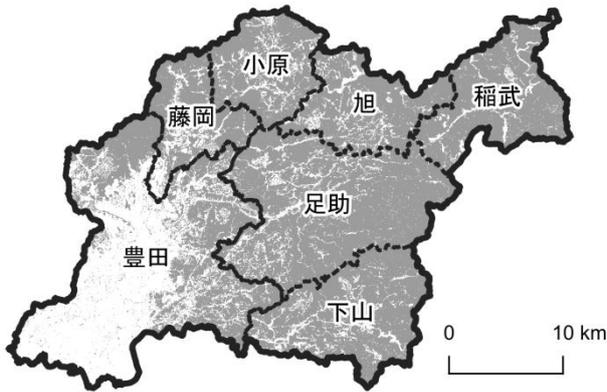
項目	R2	R1	差
(1) 林業振興事務費	14,905	19,064	△ 4,159
(2) 市有林管理費	16,639	25,579	△ 8,940
(3) 林業労働力対策費	26,031	17,974	8,057
(4) 矢作川水源林対策費	49,126	62,749	△ 13,623
(5) 森林会館費	13,789	12,222	1,567
(6) 林道開設費	79,499	91,274	△ 11,775
(7) 林道舗装費	120,602	93,530	27,072
(8) 林道改良費	135,596	102,938	32,658
(9) 林道修繕費	28,024	38,869	△ 10,845
(10) 林業振興費	632	405	227
(11) 水源環境林整備費	14,026	6,414	7,612
(12) 森林整備市民活動費	617	648	△ 31
(13) 木材流通加工施設整備費補助金	3,318	0	3,318
(14) 間伐材搬出利用促進費	41,220	43,613	△ 2,393
(15) 間伐促進事業費	64,755	33,695	31,060
(16) 高性能林業機械施業促進費	1,455	1,406	49
(17) 森づくり推進費	35,652	37,552	△ 1,900
(18) とよた森林学校費	14,476	15,233	△ 757
(19) 林道維持管理費	15,654	7,201	8,453
(20) 人件費	87	203	△ 116
(21) 林道整備調査費	633	3719	△ 3,086
(22) あいち森と緑づくり事業等推進費	62,855	47,315	15,540
(23) 過疎山村地域代行林道費	0	1,848	△ 1,848
(24) 林道橋りょう維持管理費	11,266	20,062	△ 8,796
(25) 地域材利用拡大推進費	6,420	5,524	896
(26) 林道施設現年災害復旧事業費	97,269	12,718	84,551
(27) 林業施設過年災害復旧事業費	0	7,682	△ 7,682
(28) 水道水源保全費	65,747	61,504	4,243
計	920,293	770,941	149,352

# 参 考

## I 豊田市における森林・林業の現況

### 1 豊田市の森林の現状（令和2年度）

〈豊田市の森林位置図〉



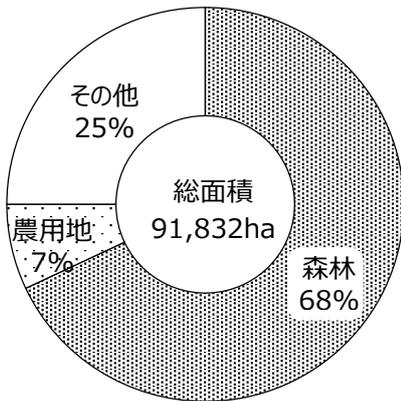
〈豊田市の土地利用別面積〉（単位：ha）

区分	面積	
区域	91,832	
森林	総数	62,280
	国有林	1,243
	民有林	61,036
農用地	6,310	
その他	23,242	

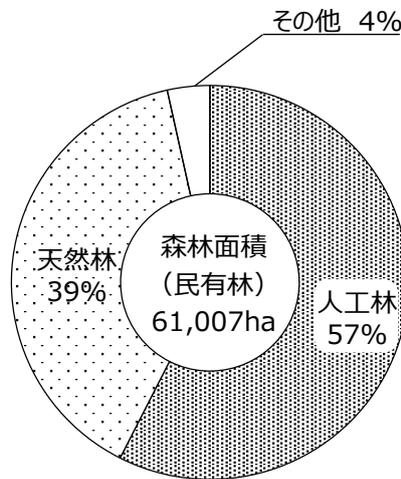
資料：愛知県林務課

注1 ha 未満は四捨五入。従って内訳と計は必ずしも一致しない。

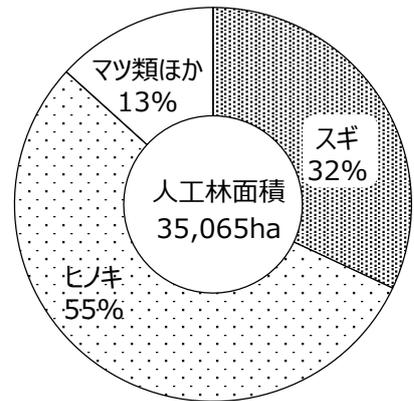
〈豊田市の森林率〉



〈豊田市の人工林率（民有林）〉



〈人工林の樹種別割合〉



注1 豊田市の人工林率、樹種別割合は地域森林計画対象民有林の値

資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域毎の森林率と人工林率〉

(単位：ha・%)

	区域面積 A	森林面積 B	森林率 B/A×100	森林のうち 人工林 C	人工林率 C/B×100
豊田市	91,832	62,280	68	—	—
うち民有林	—	61,036	—	—	—
うち地域森林計画対象民有林	—	61,007	—	35,065	57
豊田	29,011	9,798	34	2,750	28
藤岡	6,558	4,669	71	1,676	36
小原	7,454	5,515	74	2,425	44
足助	19,312	16,188	84	9,842	61
下山	11,418	9,601	84	7,075	74
旭	8,216	6,688	81	4,648	69
稲武	9,863	8,548	87	6,649	78

資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域森林計画対象民有林における林種別面積及び蓄積〉

(単位：ha・m<sup>3</sup>・m<sup>3</sup>/年)

		面積	蓄積	成長量
立木地	人工林	35,065	10,485,717	121,656
	天然林	23,841	3,164,207	14,923
竹林		1,141		
無立木地		960		
計		61,007	13,649,924	136,579

資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域森林計画対象民有林の人工林における林種別面積及び蓄積〉

(単位：ha・m<sup>3</sup>・m<sup>3</sup>/年)

		面積	蓄積	成長量
針葉樹	スギ	11,238	4,878,388	54,013
	ヒノキ	19,209	4,698,369	60,247
	マツ類	4,387	872,587	7,016
	その他	86	21,303	228
広葉樹		145	15,070	152
計		35,065	10,485,717	121,656

資料：愛知県林務課

## 2 木材価格の変化と木材生産量

〈豊田市内木材生産量〉

(単位：m<sup>3</sup>)

年	市内木材生産量	うち豊田森林組合の取扱量	
		うち豊田森林組合の取扱量	うち利用間伐の取扱量
H17	23,700	13,811	11,049
H18	24,300	14,689	8,000
H19	23,218	16,495	12,899
H20	28,900	17,660	14,035
H21	29,400	18,553	14,535
H22	33,390	18,969	16,121
H23	32,484	21,141	15,988
H24	37,399	18,704	14,700
H25	33,818	22,962	18,403
H26	39,390	26,305	19,096
H27	48,316	27,764	21,146
H28	44,827	22,392	16,006
H29	38,259	23,712	20,235
H30	51,188	33,299	27,978
R1	54,129	33,925	31,804
R2	66,438	31,532	30,954

注1 市内木材生産量は年次数値、それ以外は年度数値 資料：愛知県林務課及び豊田森林組合

〈豊田原木流通センターの木材取扱量と平均単価〉

(単位：m<sup>3</sup>・円/m<sup>3</sup>)

年度	スギ		ヒノキ		スギ+ヒノキ+その他樹種	
	木材取扱量	平均単価	木材取扱量	平均単価	木材取扱量	平均単価
H17	3,268	10,030	4,254	19,981	8,086	15,886
H18	4,228	10,300	6,588	20,590	11,154	16,458
H19	6,437	9,192	6,220	19,087	13,037	13,713
H20	5,889	9,193	7,494	17,862	13,643	13,974
H21	6,872	9,171	6,903	15,337	14,115	12,453
H22	8,179	9,856	8,559	15,379	15,726	13,513
H23	6,769	8,290	7,601	12,806	16,738	12,680
H24	7,942	10,420	7,496	16,981	15,083	10,422
H25	5,344	9,492	7,986	15,736	14,167	12,403
H26	5,527	10,060	6,769	14,568	12,583	12,314
H27	4,529	9,052	7,295	13,423	12,309	11,492
H28	4,517	9,729	3,792	11,900	8,608	10,570
H29	2,250	9,764	5,551	12,529	9,868	10,473
H30	7,451	10,578	8,223	13,125	20,257	10,578
R1	12,843	9,963	10,596	12,203	30,475	9,807
R2	12,340	8,998	11,566	10,713	33,604	8,512

資料：愛知県森林組合連合会

### 3 森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状

#### (1) 組織

〈組合員の状況〉

(単位：人)

年度	正組合員	准組合員	計
H17	8,623	6	8,629
H18	8,618	6	8,624
H19	8,620	6	8,626
H20	8,623	6	8,629
H21	8,614	6	8,620
H22	8,555	6	8,561
H23	8,545	8	8,553
H24	8,539	8	8,547
H25	8,536	8	8,544
H26	8,526	8	8,534
H27	8,494	8	8,502
H28	8,463	8	8,471
H29	8,445	8	8,453
H30	8,415	8	8,423
R1	8,392	13	8,405
R2	8,364	16	8,380

〈常勤の役職員数〉

(単位：人)

年度	常勤役員数	常勤職員数
H17	2	52
H18	2	52
H19	2	51
H20	2	48
H21	1	50
H22	1	50
H23	1	51
H24	1	51
H25	1	46
H26	1	49
H27	2	51
H28	2	52
H29	2	50
H30	2	45
R1	2	44
R2	2	46

資料：豊田森林組合第16回通常総代会資料

〈豊田森林組合作業班員の年齢別構成表〉

(単位：人)

年度	～29歳	30～39歳	40～59歳	60歳～	計
H17	11	10	34	79	134
H18	11	15	34	73	133
H19	11	19	41	75	146
H20	11	19	41	73	144
H21	12	23	52	74	161
H22	12	27	50	80	169
H23	10	25	52	84	171
H24	6	27	52	82	167
H25	4	24	45	75	148
H26	6	21	46	65	138
H27	10	19	41	71	141
H28	8	17	49	58	132
H29	6	13	49	50	118
H30	6	15	46	41	108
R1	4	12	36	28	80
R2	4	11	31	12	58

資料：豊田森林組合

## (2) 事業活動

### 〈販売部門〉

(単位：m<sup>3</sup>・kg・千円(税抜))

項 目		取扱量	売 上	項 目		取扱量	売 上
販売 事業	木 材	400	2,871	林産 事業	受託林産	30,785	244,025
	菌 床	-	-		買取林産	158	840
	乾燥シイタケ	-	-				

資料：豊田森林組合第16回通常総代会資料

### 〈加工部門〉

(単位：千円(税抜))

項 目	取扱額	項 目	取扱額	項 目	取扱額
加工製品	50,609	チップ・オガコ	840	工作物	-
杭ほか	6,458	賃挽き	-		

資料：豊田森林組合第16回通常総代会資料

### 〈森林整備部門〉

(単位：千円(税抜))

項 目		売 上
森林整備	森林整備・治山・林道等	543,845
利用事業	調査・とよた森林学校・森林整備支援交付金等	308,972
購買事業	苗木・肥料・チェーンソー等	42,727

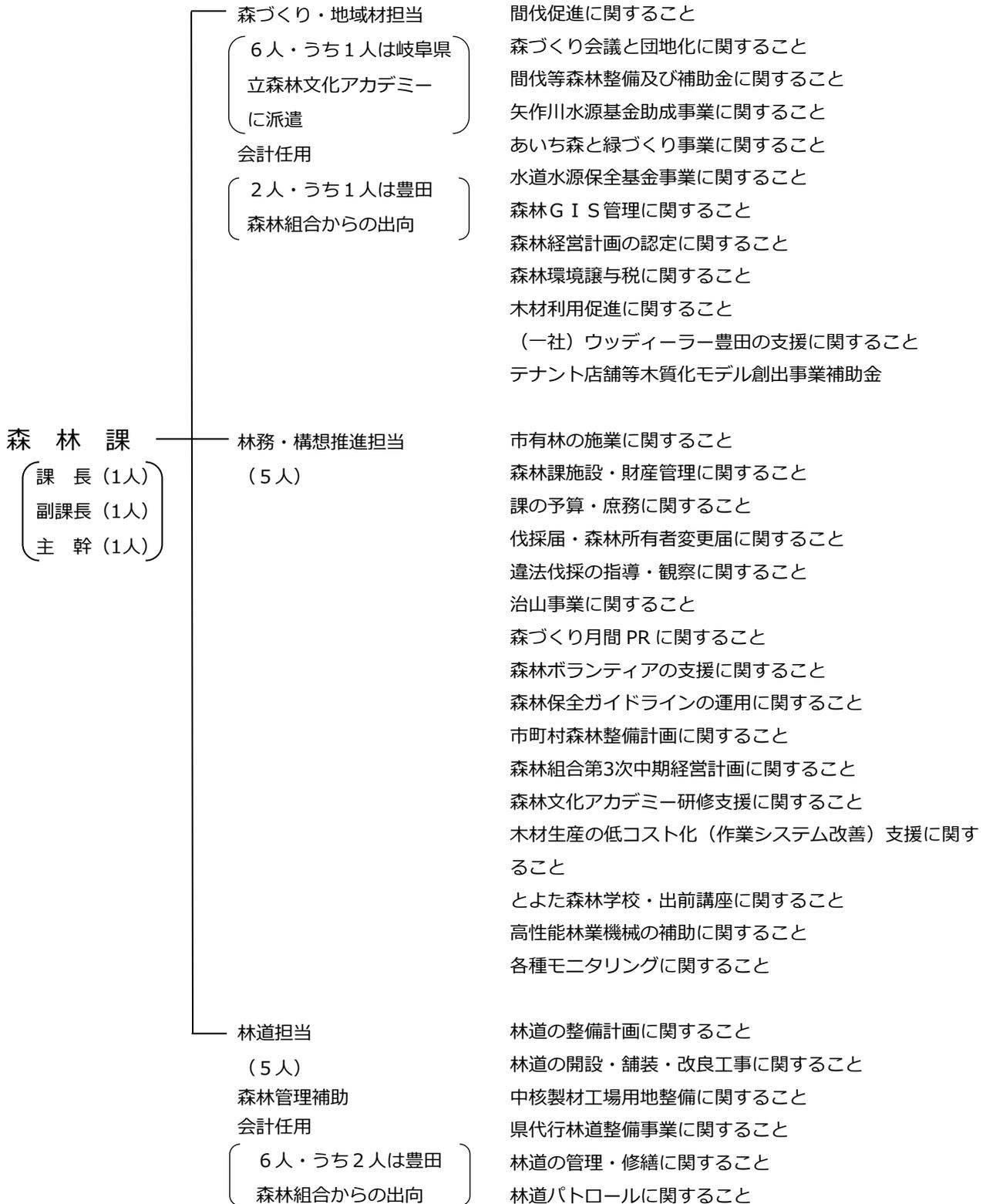
資料：豊田森林組合第16回通常総代会資料

### 〈とよた森林学校〉

(単位：千円)

項 目	受託額
とよた森林学校運営業務委託	14,762

## II 産業部森林課の組織と主な業務



# 付 表

付表 1 間伐実施面積（年度別）

区 分		H17	H18	H19	←第1次計画期間→					計	
					H20	H21	H22	H23	H24		
県事業	治山事業	347	346	421	319	234	228	167	83	1,031	
	あいち森と緑づくり事業				5	205	416	436	506	1,568	
	計	347	346	421	324	439	644	603	589	2,599	
市事業	間伐促進事業	国県補助 市上乗せ	418	449	403	431	456	266	113	127	1,393
		市単独	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		水道水源林									
	矢作川水源基金	109	215	216	197	218	157	163	139	874	
	水源環境林	64	110	76	97	99	33	30	24	283	
	巻枯らし等補助事業	-	-	-	-	-	6	6	2	14	
	水道水源特別区域森づくり事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	591	774	695	725	773	462	312	292	2,564	
その他（国県補助 市上乗せなし）		-	10	8	6	34	21	24	91	176	
その他（ボランティアなど）											
第3次基本計画対象間伐面積		938	1,130	1,124	1,055	1,246	1,127	939	971	5,339	

計画対象外	市有林施業	34	20	35	108	100	56	75	65	404
	県分収林	254	151	106	87	108	179	322	44	740
	県有林	43	47	14	26	23	42	46	32	169
	計	331	218	155	221	231	277	443	141	1,313
市内間伐実績面積		1,269	1,348	1,279	1,276	1,477	1,404	1,382	1,112	6,652

注1 間伐促進事業（国県補助 市上乗せ）は、造林事業の上乗せ補助分。（市単独）は、市一般会計で（水道水源林）は水道水源保全特別会計の市単独補助事業。

2 市有林事業に市外に所在する市有林（黒田湖畔段戸記念林及び学校部分林）の実績は含まない。

3 その他は、国県補助又は単独で実施した間伐で市の上乗せ等の補助を受けていないもの。ボランティアなど平成30年度集計から除外した。

4 ha 未満は四捨五入。従って内訳と計は必ずしも一致しない。

(単位 : ha)

←第2次計画期間→						←第3次計画期間→						合計
H25	H26	H27	H28	H29	計	H30	R1	R2	R3	R4	計	
97	76	79	83	76	411	39	48	39			127	2,683
581	391	356	431	408	2,167	414	299	381			1,093	4,828
677	467	435	515	484	2,578	453	347	420			1,220	7,511
80	119	91	118	108	516	51	36	98			185	3,364
25	106	49	67	0	247	208	89	132			429	675
		100	75	86	261	86	79	83			249	509
155	119	89	174	204	741	40	100	45			185	2,340
20	20	20	19	12	91	10	12	32			55	679
-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	14
-	-	-	-	-	-	-	22	30			52	52
280	364	348	452	410	1,854	395	338	421			1,154	7,632
14	10	10	13	75	122	112	136	78			326	839
23	56	51	67	(44)	197	(50)	(48)	(102)			(200)	
995	897	845	1,046	968	4,751	960	821	919			2,701	15,983

39	31	15	1	1	87	14	8	6			28	608
74	83	33	65	99	354	63	38	23			124	1,729
30	45	20	20	31	146	32	32	0			64	483
143	159	68	86	131	587	109	78	29			216	2,820
1,138	1,056	913	1,132	1,099	5,338	1,069	900	948			2,917	18,803

付表 2 市間伐補助事業一覧表

事業名	作業種	補助対象経費	間伐率	補助率
間伐促進事業 (非公共造林 市上乗せ有) (市単独) (水道水源林)	切置き間伐	愛知県の森林造成等補助金交付要綱、 造林事業実施要領及び小規模森林育 成事業実施要領に準じて行う間伐実施 に要する経費	30%以上	9/10以内
			団地内40%以上 針広混交林誘導林 40%~60%	10/10以内
	間伐材生産	愛知県の定める林業振興対策事業補助 金のうち次世代林業基盤づくり事業に基 づき実施する間伐材生産に要する経費	団地内 20%以上	1/10以内
	巻枯らし	巻枯らしに要する経費	針広混交林誘導林 40%~60%	10/10以内
矢作川水源林 対策事業	切置き間伐	(公財)矢作川水源基金が定める水源林 地域対策事業業務方法書及び水源林 対策事業助成金交付要領に準じて行う 間伐に要する経費	20%~30%	基金が定める補助率
			30%以上	9/10以内
			団地内40%以上	10/10以内
	利用間伐		20%~30%	基金が定める補助率
			30%以上	4/10以内
	団地内30%以上	5/10以内		

付表 3 森づくり会議・団地の設置状況（地区別・年度別）

（単位：箇所数・ha）

年度		豊田	小原・藤岡	足助	下山	旭	稲武	計
H19	会議数	-	-	1	9	4	1	15
	団地数	-	-	-	-	-	-	-
	面積	-	-	-	-	-	-	-
H20	会議数	2	2	11	7	3	2	27
	団地数	2	1	4	4	4	5	20
	面積	16.45	7.10	43.33	82.24	48.64	110.26	308.02
H21	会議数	2	2	6	-	6	3	19
	団地数	2	2	8	18	10	8	48
	面積	43.67	28.69	141.32	245.26	140.82	182.70	782.46
H22	会議数	-	1	2	1	3	2	9
	団地数	2	3	13	25	9	11	63
	面積	17.06	64.90	244.71	403.16	127.32	251.02	1,108.17
H23	会議数	-	1	1	-	1	2	5
	団地数	2	2	16	13	11	13	57
	面積	19.21	28.23	265.37	282.18	169.16	402.51	1,166.66
H24	会議数	-	1	1	-	-	3	5
	団地数	-	-	11	13	9	12	45
	面積	-	-	198.75	320.24	208.57	345.26	1,072.82
H25	会議数	-	-	1	-	1	-	2
	団地数	1	1	15	15	12	12	56
	面積	18.45	15.91	262.77	342.63	204.59	385.25	1,229.60
H26	会議数	-	3	2	1	2	-	8
	団地数	1	-	11	13	10	12	47
	面積	16.25	0.13	180.42	317.89	202.85	372.79	1,090.33
H27	会議数	-	1	3	1	3	-	8
	団地数	1	3	12	9	4	13	42
	面積	22.39	33.05	288.37	310.36	124.58	275.63	1,054.38
H28	会議数	-	1	3	1	2	-	7
	団地数	1	3	15	9	8	12	48
	面積	12.28	51.85	334.49	367.59	166.29	313.10	1,245.60
H29	会議数	-	-	-	-	2	-	2
	団地数	-	3	16	8	11	10	48
	面積	-	42.92	244.0	277.84	257.64	275.96	1,098.36
H30	会議数	-	1	1	-	-	-	2
	団地数	-	3	7	6	8	12	36
	面積	-	29.98	209.41	180.54	189.41	302.79	912.13
R1	会議数	-	1	-	-	1	-	2
	団地数	-	1	9	13	11	10	44
	面積	-	25.31	208.56	333.41	194.24	300.76	1,062.28
R2	会議数	-	-	-	-	1	-	1
	団地数	1	1	11	9	7	9	38
	面積	17.33	15.43	292.09	321.95	144.47	313.04	1,104.31
計	会議数	4	14	32	20	29	13	112
	団地数	13	23	148	155	114	139	592
	面積	183.09	343.50	2,913.59	3,785.29	2,178.58	3,831.07	13,235.12

付表 4 森づくり団地設置状況 (令和 2 年度)

(単位 : ha)

地区	会議名	団地名	認定面積	地区	会議名	団地名	認定面積
豊田	日明	井ノ沢・桐ヶ洞	17.33	下山	阿蔵	蓬生・ダンド	49.79
	計	1 団地	17.33		蘭	平岩・大向・神田	20.97
藤岡	北一色	方平	15.43			分里・新田	(追)2.62
	計	1 団地	15.43		宇連野	大柿・宮前・方形団地	33.63
足助	明川	スゲノ入	(追)1.01			物見石第 4	(追)0.76
	大多賀	三浦	31.85			物見石第 5	(追)3.29
		西田	75.03		小松野	水分・大明神	41.01
	上八木	中平	46.61			大クテ・蔵掛・大島	(追)0.48
	上佐切	桜・栗林・谷下団地	(追)1.64		立岩	東山・白土	18.21
	五反田	ササダ・大沢	12.83			ヒラクリ	14.89
	下佐切	日向・仙現下	5.36			向山・高年田	(追)1.76
	白倉	白倉第 2	6.08		羽布	エス小屋第 3	30.49
	新盛	新盛第 4	20.07		梨野	大根第 3	(追)0.58
	葛沢	柿ノ久保・本郷	13.82			大ブナ	65.82
	怒田沢	奥山第 2	34.69		東大林町	半ノ木第 4	26.20
	東大見	第 1	(追)1.40			半ノ木第 1	(追)11.45
	御内	浦山・西口論部	18.25	計	9 団地	321.95	
			(追)0.02				
		大下里	(追)0.67		稲橋	クサカリ場・カンバヤケ・ チウソ・深沢	20.13
		田ノ口・日陰	(追)0.04			横川入 90	37.09
荒田・路ヶ窪		15.66	横川入 92			42.06	
山谷		大城	(追)1.21		大野瀬	大カサワ南	17.15
		四ツ松	十明盛岡			(追)5.85	長淵・猫ノ平
計	11 団地	292.09	フカダワ・コデガソル			(追)0.98	
旭	明賀	明賀西	13.01		稲武	小田木	タカドヤ第 4
	大坪	大入第 3	(追)2.38	川手		ヲヲソリ・ノマキ	(追)34.75
	小滝野・閑羅瀬	松根・赤沢	18.19	黒田		一ノ渡瀬・南水別	(追)17.70
	榊野	庄沢	13.75			乳母ヶ入	30.41
		能見	(追)3.03	夏焼		カヤダテ・カヤマグチ	(追)17.20
	下切	孫女	10.35	野入		貝立	25.40
		孫女	(追)0.05			貝立	(追)0.04
	杉本	沢尻	20.03			蘭峠	26.47
	田津原	駒山第 2	18.47	計		9 団地	313.04
	坪崎	上知祖・イヲツ中	45.21	合計	38 団地	1,104.31	
	計	7 団地	144.47				

注 1 (追) は、既設の団地に追加したもの。団地数にはカウントしない。

付表 5 あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林整備事業）等の候補地とりまとめ状況

(単位：ha・千円)

年度	あいち森と緑づくり森林整備事業		保安林事業	
	面積	契約金額	面積	契約金額
H21	100.78	13,802		
H22	316.93	48,939		
H23	403.36	57,818		
H24	569.29	88,038		
H25	514.08	79,986		
H26	266.72	46,769		
H27	314.02	58,251		
H28	328.06	63,537		
H29	186.73	35,673	23.33	3,831
H30	193.27	37,964	16.74	4,099
R1	354.40	69,791	23.54	4,780
R2	481.72	97,925	22.33	4,430
計	4,029.36	698,494	85.94	17,140

付表 6 森林経営計画認定件数及び面積

(単位：件・ha)

年度		豊田	小原・藤岡	足助	下山	旭	稲武	計
H25	件数	－	－	5	3	3	3	14
	面積	－	－	217.27	132.19	228.57	91.13	669.16
H26	件数	－	－	－	3	4	2	9
	面積	－	－	－	110.93	98.09	96.85	305.87
H27	件数	－	－	2	3	2	2	9
	面積	－	－	84.23	112.07	69.12	99.99	365.41
H28	件数	－	－	3	2	4	1	10
	面積	－	－	180.61	177.68	177.91	29.58	565.78
H29	件数	－	－	4	3	1	2	10
	面積	－	－	1,166.74	237.46	46.19	82.35	1,532.74
H30	件数	1	－	－	2	1	2	6
	面積	36.74	－	－	172.38	35.56	86.78	331.46
R1	件数	－	－	3	－	2	2	7
	面積	－	－	170.47	－	134.35	76.67	381.49
R2	件数	－	1	4	5	1	3	14
	面積	－	35.88	163.44	157.61	24.61	99.78	481.32
計	件数	1	1	21	21	18	17	79
	面積	36.74	35.88	1,982.76	1,100.32	814.40	663.13	4,633.23

付表 7 豊田森林組合の高性能林業機械保有数

(単位：台)

年度	スイングヤーダ	プロセッサ	フォワーダ	タワーヤーダ	ハーベスタ	グラブプル	計
H23	4 (2)	3 (1)	4 (1)	1 (-)	1 (-)	2 (1)	15 (5)
H24	4 (2)	3 (1)	4 (1)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	14 (4)
H25	4 (1)	3 (1)	4 (1)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	14 (3)
H26	4 (1)	3 (-)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (-)	15 (1)
H27	4 (1)	4 (-)	5 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (-)	17 (1)
H28	4 (1)	4 (-)	5 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (-)	17 (1)
H29	4 (-)	5 (-)	5 (1)	- (-)	- (-)	3 (-)	17 (1)
H30	5 (-)	6 (-)	6 (1)	- (-)	- (-)	3 (-)	20 (1)
R1	5 (-)	6 (-)	6 (1)	- (-)	- (-)	3 (-)	20 (1)
R2	5 (-)	6 (-)	6 (1)	- (-)	- (-)	3 (-)	20 (1)

注 ( )内は県林業振興基金からのレンタルで内数。

資料：豊田森林組合

付表 8 高性能林業機械施業促進補助金

(単位：台・千円)

年度 項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
対象台数	4	4	3	2	3	3	3	3	3	2
補助金額	999	926	922	507	706	1,055	1,055	1,405	1,406	1,456

資料：森林課・豊田森林組合

付表 9 豊田市林道一覧 (令和2年度)

(単位：m)

地区名	管理者	路線数	延長	舗装 路線数	舗装 延長	地区名	管理者	路線数	延長	舗装 路線数	舗装 延長
豊田	市	19	31,523	14	28,286	下山	市	52	118,653	38	72,398
	組合	3	1,684	-	-		組合	-	-	-	-
	県	-	-	-	-		県	-	-	-	-
	計	22	33,207	14	28,286		計	52	118,653	38	72,398
藤岡	市	22	22,843	11	14,886	旭	市	29	49,895	12	28,919
	組合	-	-	-	-		組合	-	-	-	-
	県	1	1,833	1	1,833		県	1	1,919	-	-
	計	23	24,676	12	16,719		計	30	51,814	12	28,919
小原	市	23	38,539	20	35,019	稲武	市	48	100,881	33	59,185
	組合	-	-	-	-		組合	4	5,600	2	440
	県	-	-	-	-		県	-	-	-	-
	計	23	38,539	20	35,019		計	52	106,481	35	59,625
足助	市	44	76,507	26	47,194	計	市	237	438,841	154	285,887
	組合	-	-	-	-		組合	7	7,284	2	440
	県	3	11,987	1	3,287		県	5	15,739	2	5,120
	計	47	88,494	27	50,481		計	249	461,864	158	291,447

付表 10 林業用路網の開設延長

(単位：km)

年度	林道	林業専用道	作業道				搬出路			合計
			単市作業道	水源基金	あいち森と緑づくり事業	計	私有林	市有林	計	
H17	3.44	-	0.88	2.31	-	3.19	1.20	-	1.20	7.83
H18	3.92	-	0.52	2.71	-	3.23	2.90	-	2.90	10.05
H19	3.03	-	0.00	2.58	-	2.58	2.68	2.39	5.07	10.68
H20	3.33	-	2.41	3.12	-	5.53	9.80	2.82	12.62	21.48
H21	2.09	-	2.42	2.50	-	4.92	11.49	2.82	14.22	21.23
H22	2.57	-	3.71	3.38	-	7.09	12.08	3.01	15.09	24.75
H23	1.07	-	3.96	2.52	1.24	7.72	10.30	2.33	12.63	21.42
H24	0.89	2.38	2.40	2.96	-	5.36	10.93	1.15	12.08	20.71
H25	0.90	0.78	1.97	2.60	-	4.57	8.97	0.75	9.72	15.97
H26	0.97	2.32	2.07	2.33	-	4.40	14.72	0.24	14.96	22.65
H27	0.57	0.77	1.99	2.42	-	4.42	20.73	-	20.73	26.49
H28	0.98	-	1.17	2.16	-	3.33	27.28	-	27.28	31.59
H29	0.11	1.33	1.45	2.20	-	3.69	34.52	-	34.52	39.65
H30	0.38	-	1.49	2.85	-	4.34	37.83	1.55	39.38	44.10
R1	0.59	1.04	0.77	2.68	-	3.45	38.15	1.76	39.91	44.99
R2	0.09	0.18	0.52	3.12	-	3.64	34.91	1.50	36.41	40.32

注1 単市作業道は、H17～H19は造林事業、H20からは間伐材搬出路網開設事業の作業道開設事業を記載。

付表 11 林道開設事業（令和2年度市施工）

(単位：m・%・千円)

地区	路線名称	延長	幅員	延長			R2事業費	県補助金	市費	受益者負担
				R2	開設済	進捗率				
足助	大日影支線	693	4.0	36	664	96	12,499	8,300	4,073	126
稲武	野入立野線	1,205	4.0	0	880	73	22,057	13,200	8,591	266
計				36			34,556	21,500	12,664	392

付表 12 過疎山村地域代行林道整備事業（愛知県施工）

(単位：m・%)

年度	下山		稲武	計	年度	下山		稲武	計
	田平沢平瀬線	河上瀬柏洞線				田平沢平瀬線	河上瀬柏洞線		
～H19	-		6,046	6,046	H28	813		-	813
H20	-		445	445	H29	168		-	168
H21	-		447	447	H30	311		72	383
H22	-		415	415	R1	404		80	484
H23	-		-	-	R2	19		34	53
H24	-		303	303	延長計	1,715		9,032	10,747
H25	-		331	331	計画	10,600		9,300	
H26	-		464	464	進捗率	16		97	
H27	-		395	395					

付表 13 林業専用道(規格相当)開設事業 (令和2年度市施工)

(単位: m・千円)

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	国・県補助金	市費	受益者負担
下山	和合黒坂支線	181	3.5	22,754	14,400	8,103	251

付表 14 間伐材搬出路網 (作業道) 開設事業 (令和2年度豊田森林組合施工)

(単位: m・千円)

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	市補助金	受益者負担
足助	宮脇2号線	523	3.0	4,582	4,445	137

注1 測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まない。

付表 15 矢作川水源林対策事業 (令和2年度豊田森林組合施工)

(単位: m・千円)

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	水源基金	市補助金	受益者負担
足助	大沢柄平線	875	3.0	8,449	4,396	3,800	253
下山	滝尻仏供線	1,057	3.0	10,284	5,391	4,584	309
	梨野トチガク線	1,189	3.0	10,940	6,064	4,548	328
計		3,121		29,673	15,851	12,932	890

注1 測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まない。

付表 16 間伐材搬出路網 (令和2年度豊田森林組施工)

(単位: m・千円)

地区	路線名称	延長	事業費	市補助金	受益者負担
足助	五反田大平線①	1,561	2,342	1,561	781
	五反田大平線②	1,061	1,592	1,061	531
	御内大洞線	2,133	3,200	2,133	1,067
	上八木平岩線	374	561	374	187
	明川スゲノ入線	1,906	2,859	1,906	953
下山	宇連野物見石第4線①	3,494	5,241	3,494	1,747
	宇連野物見石第4線②	2,234	3,351	2,234	1,117
	立岩向山線	1,414	2,121	1,414	707
	阿蔵滝田線	2,830	4,245	2,830	1,415
	和合小松野線	3,659	5,489	3,659	1,830
	梨野立畑線	1,167	1,751	1,167	584
旭	万町旭高原線	1,883	2,825	1,883	942
	太田第1線	1,288	1,932	1,288	644
	太田第2線	909	1,364	909	455
	田津原向線	594	891	594	297
稲武	黒田ダム線	1,570	2,355	1,570	785
	富永藤ノ塔線	2,837	4,256	2,837	1,419
	御所貝津田ノ洞萩平線	3,557	5,336	3,557	1,779
計		34,471	51,711	34,471	17,240

注1 幅員は2.5m、補助率は2/3以内。

付表 17 間伐材搬出路網（令和2年度自力施工）

（単位：m・千円）

地区	施工場所	延長	事業費	市補助金	受益者負担
足助	千田町地内	301	181	54	127
下山	大沼町地内	135	81	24	57
計		436	262	78	184

注1 幅員は1.5m、補助率は3/10以内。

付表 18 林道改良及び舗装実績

（単位：m）

年度	改良	舗装	年度	改良	舗装	年度	改良	舗装
H17	757	5,931	H23	816	1,900	H29	1,472	2,939
H18	870	5,140	H24	303	1,647	H30	1,281	3,091
H19	708	5,666	H25	808	1,780	R1	940	3,007
H20	770	6,198	H26	1,227	1,429	R2	657	4,240
H21	1,436	4,659	H27	467	2,552			
H22	877	4,304	H28	316	3,884			

付表 19 林道改良事業（令和2年度市施工）

（単位：m・千円）

地区	路線名称	延長	主な工種	事業費	国・県補助金	市費
足助	亀割線	153	法面改良	18,626	11,100	7,526
	金山線（奥山橋）	-	橋りょう補修	11,266	6,000	5,266
稲武	野入月ヶ平線※1	229	法面改良	76,233	49,000	27,233
	大洞線	56	法面改良	13,316	7,920	5,396
	河上瀬柏洞線※2	112	法面改良	11,488	7,000	4,488
	横川入線	107	法面改良	15,932	9,540	6,392
計		657		146,861	90,560	56,301

※1 令和元年度繰越分含む。

※2 道整備交付金を活用。

付表 20 林道舗装事業（令和2年度市施工）

（単位：m・%・千円）

地区	路線名称 全体計画	延長	舗装済延長	進捗率	事業費	県補助金	市費
下山	尾根線	680	1,363	31	20,744	13,600	7,144
	L4,372×W4.0						
旭	浅野線	1,090	6,156	86	25,531	17,000	8,531
	L7,178×W4.0~5.0						
稲武	富永2号線	560	848	62	16,851	11,200	5,651
	L1,371×W3.0						
	小川線	500	3,138	70	14,665	9,600	5,065
	L4,472×W4.0						
	河上瀬柏洞線	860	1,653	18	25,788	16,800	8,988
	L9,300×W4.0						
名倉道線	550	563	18	17,023	11,200	5,823	
L3,134×W3.6							
計		4,240	13,721		120,602	79,400	41,202

付表 21 市公共事業の地域材使用量

（単位：m<sup>3</sup>）

年度	建設用 資材	建築等 用材	チップ材	計	年度	建設用 資材	建築等 用材	チップ材	計
H17	129.32	272.46	15.30	417.08	H25	501.35	104.36	25.40	631.11
H18	193.55	89.27	165.20	448.02	H26	42.70	45.39	67.70	155.79
H19	271.73	217.04	0.24	488.76	H27	14.28	1,073.27	32.55	1,120.10
H20	290.73	101.29	316.29	708.21	H28	9.84	39.75	0.00	49.59
H21	80.32	19.06	1.84	101.22	H29	51.78	166.02	164.10	381.90
H22	145.16	89.93	93.55	328.64	H30	41.80	73.30	0.00	115.10
H23	72.77	34.03	0.00	106.80	R1	11.51	71.71	2.00	85.23
H24	57.91	166.85	2,278.00	2,502.76	R2	33.25	191.52	0.00	224.77

資料：技術管理課

付表 22 緑の雇用担い手対策事業に係る人材育成実績

（単位：人）

年度	採用者数	在籍者数	年度	採用者数	在籍者数	年度	採用者数	在籍者数
H15	15	5	H22	7	0	H29	4	2
H16	10	3	H23	6	3	H30	3	3
H17	4	2	H24	3	0	R1	4	3
H18	6	1	H25	3	1	R2	2	2
H19	9	2	H26	3	2	計	112	37
H20	10	2	H27	2	0			
H21	19	5	H28	2	1			

資料：豊田森林組合

付表 23 森づくり団地化推進員設置状況等

(単位：人・円)

年度	人数	補助金額	新規 就業者数※	年度	人数	補助金額	新規 就業者数※
H21	5	8,183	－	H27	8	14,935	2
H22	6	9,711	1	H28	8	17,971	1
H23	7	9,750	1	H29	8	17,971	1
H24	7	10,786	2	H30	8	17,769	1
H25	8	11,500	1	R1	8	17,974	－
H26	8	11,966	3	R2	8	17,321	－

※ 団地化推進員を経て、豊田森林組合の職員又は作業員に就職した人数。

付表 24 年度別「豊田市森林 GIS 保守・運用業務」事業費

(単位：千円)

年度	事業費	事業内容
H19	2,993	森林GISシステムの基本設計
H20	9,765	基本システムの導入及び業務支援システムの詳細設計
H21	29,715	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの開発導入
H22	2,699	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H23	4,014	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 市町村森林整備計画の改正に係るゾーニングの資料作成
H24	4,250	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H25	3,720	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H26	3,348	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	19,440	運用環境の再構築、必要な機器・ソフトウェア調達及びプログラム調整
H27	4,129	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	17,280	森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（豊田・藤岡・小原・足助）
H28	3,672	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	20,520	森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（旭・稲武・下山）
H29	5,512	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H30	6,806	林地台帳構築、団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
R1	4,071	団地化業務、林地台帳、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
R2	3,549	

付表 25 人材育成コース受講者数

(単位：人)

講座名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
山主森林経営講座	11	10	10	9						
楽しい山づくり入門講座					10	7	10	11	7	8
森林観察リーダー養成講座	9	13								
森林観察リーダー入門講座			13	10	10	10	8	13	13	13
間伐ボランティア初級講座	20	20	19	20	17	12	13	18	16	20
セミプロ林業作業員養成講座	10	10	11	12	11	10	7	8		
山主自力間伐講座	12	12	11	12	7	10	11	12	11	
計	62	65	64	63	55	49	49	62	47	41

資料：とよた森林学校実施報告書

付表 26 森の応援団コース受講者数

(単位：人)

講座名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
森林セミナー	46	41	42	39	41	40	43	43	38	
間伐してベンチをつくり寄付しよう	13	12	13	10	11	12				
森林と災害							19	14	19	9
矢作川源流の山を歩こう	22	21								
矢作川源流の森ウォーキング			22	19	21	21	20	21	21	15
木づかいいろいろ発見	20	21	21							
森あそび入門	11									
夏休み昆虫観察会		29	24	19	21	27	15	26	19	
初めての樹木分類教室	25									
森林の草花調べ		22	20	22	22	22				
森林の樹木調べ（入門コース）							20	21	17	
初めての間伐体験	20	19	10							
レットライ 初めての間伐				11						
レットライ 木こり体験					14					
山の日木こり体験						17	10	6		
森づくりの日は木こり体験						8				
森づくりの日は森林ウォーキング							15	19	17	
どんぐり博士養成講座	20									
森林調査いろいろ学習会		16	18	10						
レットライ 森の健康診断					12					
森林の動物観察		20	19							
森と人の文化史				20	17	21	22	22	21	
森林の不思議調べ				20	21	21				
森が紡ぐ和のこころ							21	17		
自然の仕組み探検隊						20	22	22		18
森づくりの基礎技術										18
計	177	201	189	170	180	209	207	211	152	60

資料：とよた森林学校実施報告書

付表 27 出前講座の開催

(単位：団体・回・人)

年度	申込み 団体数	延べ 開催数	延べ 参加者数	派遣職員 延べ人数	内容等
H23	20	49	1,509	62	森林の働き、間伐の効果などの基礎講座
H24	27	54	1,971	59	
H25	19	37	1,321	40	
H26	22	37	962	43	
H27	25	38	1,193	41	
H28	23	42	1,154	44	
H29	24	36	922	37	
H30	21	35	864	35	
R1	3	4	320	4	
R2	5	14	310	14	

付表 28 森林ボランティア始動支援事業

(単位：団体・人・円)

年度	団体数	構成員数	補助金 交付額
H22	2	43	200,000
H23	2	43	200,000
H24	2	42	175,000
H25	2	36	125,000
H26	1	15	75,000
H27	1	17	75,000
H28	2	23	125,000
H29	2	19	125,000
H30	2	22	150,000
R1	2	24	150,000
R2	2	24	125,000

付表 29 森林ボランティア安全対策事業

(単位：団体・人・円)

年度	団体数	構成員数	補助金 交付額
H22	7	124	316,675
H23	8	142	348,355
H24	8	164	373,065
H25	9	154	430,710
H26	10	157	424,870
H27	13	191	548,740
H28	12	174	530,115
H29	11	175	468,345
H30	13	187	543,790
R1	12	171	498,135
R2	12	169	491,705

注1 補助率はボランティア保険料の1/2以内

付表 30 近畿・東海・北陸市町村森林フォーラムの開催概要

開催日時	開催都市	開催内容	参加都市/機関
平成26年 8月21日(木) ～22日(金)	金沢市 (金沢学生の まち市民交流館 ほか)	【1日目】基調講演 林野庁森林整備部長 本郷 浩二 氏 東海3県事例発表、北陸3県事例発表 【2日目】「企業の森」テクノパーク、小立野小学校等現地視察	高山市、津市、福井市、 富山市、金沢市、豊田市
平成27年 11月17日(火) ～18日(水)	豊田市 (豊田市能楽 堂ほか)	【1日目】・森づくり構想シンポジウム(豊田市共催) ①基調講演 元林野庁長官 加藤 鐵夫 氏 ②報告1 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 相川 高信 氏 ③報告2 (国研) 森林総合研究所 石崎 涼子 氏 ④パネルディスカッション 【2日目】意見交換会 香嵐渓(飯盛山)視察	高山市、郡上市、福井 市、富山市、金沢市、 京都市、新城市、豊田市
平成28年 8月9日(火) ～10日(水)	富山市 (富山市役所 ほか)	【1日目】市町村意見交換会 【2日目】とやまベレット工場、(株)グリーンエネルギー北陸等 現地視察	津市、郡上市、福井市、 富山市、金沢市、豊田市
平成29年 8月22日(火) ～23日(水)	郡上市 (郡上市総合 文化センター ほか)	【1日目】市町村意見交換会 【2日目】長良川木材事業協同組合、明宝温泉湯星館等視察	郡上市、富山市、金沢 市、新城市、鹿児島大学 枚田教授、(国研) 森 林総合研究所 石崎主 任研究員、豊田市
平成30年 8月27日(月) ～28日(火)	福井市 (福井市役所 ほか)	【1日目】市町村意見交換会 【2日目】ふくい美山きときき隊、フォレストケア高田(福井市内 作業現場)等視察	福井市、飛騨市、郡上 市、津市、富山市、金沢 市、あわら市、坂井市、越 前市、敦賀市、小浜市、 (国研) 森林総合研究 所、鹿児島大学、豊田市
令和元年 8月1日(木) ～2日(金)	高山市 (高山市役所 ほか)	【1日目】市町村意見交換会 【2日目】飛騨高山しづきの湯バイオマス発電所(高山市内)	高山市、金沢市、富山 市、浜松市、新城市、福 井市、郡上市、豊田市
令和2年	コロナ感染症要望のため、開催中止		

付表 31 伐採及び伐採後の造林の届の件数と面積

(単位：件・ha)

年度	件数・面積						合計	
	主伐		うち転用		間伐		件数	面積
H22	235	48.16	65	22.49	557	854.06	792	902.22
H23	540	29.00	125	8.59	610	456.33	1,150	485.33
H24	1,527	169.63	1,005	133.72	179	60.91	1,706	230.54
H25	1,127	116.66	706	83.89	1,842	642.05	2,969	758.71
H26	210	41.17	73	14.72	249	560.10	459	601.27
H27	207	63.57	60	36.77	222	463.36	429	526.93
H28	243	129.60	82	68.45	250	588.49	493	718.09
H29	192	63.98	43	17.82	192	432.26	384	496.24
H30	174	48.20	47	7.68	127	599.63	301	647.83
R1	264	69.90	69	12.49	139	573.90	403	643.80
R2	234	56.77	36	4.93	101	587.68	335	644.45

付表 32 森林の土地の所有者届の件数と面積

(単位：件・ha)

年度	件数・面積				合計	
	売買		その他		件数	面積
H26	20	12.61	56	106.61	76	119.22
H27	56	60.34	39	24.45	95	84.79
H28	18	8.59	94	94.19	112	102.78
H29	23	10.57	92	77.63	115	88.20
H30	16	105.51	113	210.50	129	316.01
R1	36	26.89	106	132.98	142	159.87
R2	30	152.09	122	242.84	152	394.93

付表 33 豊田市森林会館の利用件数と利用者数

(単位：件・人)

年度 項目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
利用件数	32	55	66	33	50	38	42	59	43	37	23
利用者数	1,207	1,320	1,766	1,161	1,355	1,054	983	962	763	1,104	417

付表 34 市有林で実施した間伐の実績

(単位：箇所・ha・千円)

年度	施業箇所	施業面積	事業費	間伐の種類			備考	
				うち国県補助金	切置き	利用		巻枯らし
H17	13	38.43	15,635	206	34.79	3.64	-	
H18	15	59.01	45,676	4,241	27.69	31.32	-	
H19	10	35.94	31,877	10,328	16.58	16.04	3.32	
H20	12	91.89	44,222	4,673	44.21	43.13	4.55	
H21	16	100.52	36,222	7,141	79.16	19.38	1.98	
H22	9	55.94	24,543	5,011	42.28	13.66	-	
H23	9	75.23	31,474	19,081	61.61	13.62	-	
H24	9	69.52	28,635	6,724	51.20	18.32	-	
H25	4	38.81	11,484	1,568	33.00	5.81	-	
H26	6	30.86	12,296	-	30.22	0.64	-	
H27	3	15.40	3,863	-	15.40	-	-	
H28	1	1.03	2,106	-	1.03	-	-	一部支障木伐採
H29	1	0.60	421	-	-	0.60	-	
H30	1	13.68	16,447	-	4.30	9.38	-	
R1	1	8.00	11,800	-	1.06	6.94	-	
R2	1	5.83	6,741	-	-	5.83	-	

付表 35 市有林の素材販売実績

(単位：千円・m<sup>3</sup>)

年度	販売額	販売材積	皆伐	間伐	支障木
H17	5,068	330	-	209	120
H18	38,423	2,590	-	2,232	206
H19	27,664	2,173	268	1,787	118
H20	33,525	2,862	-	2,862	-
H21	19,520	1,634	405	1,319	-
H22	27,417	1,776	414	1,362	-
H23	19,144	1,601	-	1,601	-
H24	15,524	1,592	-	1,592	-
H25	1,679	167	-	167	-
H26	557	65	-	65	-
H27	-	-	-	-	-
H28	112	38	-	-	38
H29	485	46	-	46	-
H30	14,217	1,220	-	1,220	-
R1	9,297	715	-	715	-
R2	5,575	506	-	506	-

付表 36 市有林界確定測量業務

(単位：m<sup>2</sup>・件・千円)

年度	市有林名	台帳面積	実測面積	立会件数	事業費
H18	二夕瀬	183,971	334,718	18	9,135
H19	黒坂②	305,690	278,697	17	10,080
	田螺池②	59,680	59,413	22	
H20	大洞	529,160	601,864	25	16,275
H21	大多賀	465,578	542,300	11	13,125
H22	長坂	113,327	357,739	26	11,340
	御蔵	74,019	176,209	24	5,985
H23	奥山	300,395	535,248	17	5,454
H24	月原	685,800	691,770	14	17,315
	石楠	33,242	33,242	17	
H25	三ツ足	437,118	437,089	—	10,215
	桑原	4,545	11,098	4	
H26	四ツ松	170,669	375,482	7	10,282
	中之御所	47,742	76,540	28	3,913
H27	総山	85,701	299,370	20	13,780
	チソ	117,764	114,771	20	
H28	上川口	69,297	143,045	4	7,636
	稽古屋	9,369	28,561	3	
H29	木瀬	148,000	145,525	9	9,093
	小滝野	44,500	27,995	5	
H30	東大見	104,878	116,300	11	6,199
R1	西市野々	63,175	63,558	13	4,935
R2	—	—	—	—	—

※ R2は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

付表 37 市管理林道の修繕実績

(単位：路線・箇所・千円)

年度	修繕路線数	延べ修箇所	事業費	主な修繕内容
H22	100	145	53,437	崩土撤去4件 路肩保護9件 法面補修5件 路面補修16件、排水処理6件、施設設置93件
H23	88	121	38,661	崩土撤去14件 路肩・法面修繕20件 路面補修25件 排水処理 8件 施設設置47件 支障物除去 5件
H24	58	88	32,421	崩土撤去 2件 路肩修繕12件 法面補修 4件 路面補修20件 擁壁修繕 1件 施設設置38件 排水処理11件
H25	87	126	61,776	崩土撤去等23件 路肩修繕31件 法面補修8件 路面補修36件 施設設置20件 排水施設8件
H26	49	69	47,094	崩土撤去等5件 路肩修繕15件 法面補修11件 路面補修16件 施設設置16件 排水施設6件
H27	35	40	29,482	崩土撤去等13件 路面補修16件 法面補修4件 排水施設7件
H28	32	89	22,044	崩土撤去等28件 路肩修繕14件 法面補修13件 路面補修30件 排水施設4件
H29	32	66	24,788	路肩修繕15件 法面補修12件 路面補修28件 安全施設1件 排水施設10件
H30	110	162	70,635	崩土撤去29件 路肩修繕41件 法面補修13件 路面補修25件 排水施設5件 安全施設1件 倒木撤去47件
R1	73	76	59,681	崩土撤去10件 路肩修繕23件 法面補修15件 路面補修28件 排水施設16件 安全施設5件 倒木撤去 9件
R2	75	113	125,303	崩土撤去22件 倒木撤去8件 法面・路肩等修繕83件

**令和2年度版 豊田市森づくり白書**

令和3年8月

発行者 豊田市  
編集 豊田市 産業部 農林振興室 森林課  
〒444-2424  
愛知県豊田市足助町宮ノ後19-5  
(豊田市足助支所地内)  
T E L : 0565-62-0602  
F A X : 0565-62-0612  
E-mail: [shinrin@city.toyota.aichi.jp](mailto:shinrin@city.toyota.aichi.jp)